

松山市男女共同参画事業実施計画 令和3年度 実績報告(詳細版)

令和4年11月

市民部 市民生活課

<目次>

通番	事業名	担当課	分類
1	市民に対するDV(ドメスティック・バイオレンス)等に関する啓発	市民生活課・男女共同参画推進センター	主要課題1 男女の人権の尊重
2	市職員に対するDV(ドメスティック・バイオレンス)等に関する啓発	人事課・市民生活課	
3	若年層に対するデートDV等に関する啓発	市民生活課・男女共同参画推進センター	
4	DV等に関する学習会の実施	男女共同参画推進センター	
5	DV等に関する相談の実施	子育て支援課・男女共同参画推進センター	
6	DV等に対応する相談員の資質の向上	子育て支援課・男女共同参画推進センター	
7	苦情の適切かつ迅速な処理	市民生活課	
8	DV被害者支援庁内連絡会議の運営	子育て支援課	
9	DV被害者支援対応マニュアルの見直しと活用	子育て支援課	
10	関係機関との連携	子育て支援課	
11	地域におけるDV等被害者の早期発見	市民生活課	
12	松山市健康増進計画「健康ぞなもし松山」の進捗管理	健康づくり推進課	
13 (27)	自殺予防対策	保健予防課	
14	女性のための相談	男女共同参画推進センター	
15 (26)	男性のための相談	男女共同参画推進センター	
16	保護者等を対象とした講演会等	健康づくり推進課・保健予防課・保健体育課	
17	エイズ等特定感染症対策事業	保健予防課	
18	母子保健育児支援事業、妊娠・出産支援事業	健康づくり推進課	
19	ネットトラブルから子どもを守る取り組み	市民生活課	
20	男女共同参画の視点からの公的広報の実施	市民生活課	
21	市民が主体となった男女共同参画の意識啓発	男女共同参画推進センター	
22	男女共同参画に関する情報の収集及び提供	男女共同参画推進センター	
23	人権啓発推進員の養成	人権啓発課	
24	男女共同参画に関する各種実態調査	男女共同参画推進センター	
25 (44)	男性の生活的自立や家事参加等に関する関連講座	男女共同参画推進センター	
26 (15)	男性のための相談【再掲】	男女共同参画推進センター	
27 (13)	自殺予防対策【再掲】	保健予防課	
28 (63)	国際性豊かな人づくり	観光・国際交流課(公益財団法人松山国際交流協会)	主要課題2 社会制度・慣行の見直し
29	平和への取り組み	市民生活課	
30	女性登用率の向上促進	市民生活課	主要課題3 方針決定過程への女性の参画拡大
31	男女共同参画に関する研修制度の充実	人事課	
32	松山市における女性職員の職域拡大および管理職の登用促進	人事課	
33	インターンシップ及び市役所業務説明会等	人事課	
34	女性活躍推進に関する特定事業主行動計画	人事課	
35	女性の活躍推進(ジョカツ)	男女共同参画推進センター・市民生活課	
36	人材育成に関する講座	男女共同参画推進センター	
37	地域等の場で活躍できる各種人材の育成(消費生活モニター)	市民生活課	
38 (76)	地域等の場で活躍できる各種人材の育成(女性防火クラブ)	地域消防推進課	
39 (90)	男女共同参画の視点を持つための学習機会の提供	男女共同参画推進センター	
40	地域における男女共同参画の意識啓発	男女共同参画推進センター	
41	まつやま農業者セミナー	農業委員会事務局	
42	地域のまちづくりへの女性参画促進	まちづくり推進課	
43	市民活動団体等に対する支援・連携促進	まちづくり推進課	

通番	事業名	担当課	分類
44 (25)	男性の生活的自立や家事参加等に関する関連講座【再掲】	男女共同参画推進センター	主要課題4 仕事と生活の調和
45	男女雇用機会均等法の周知・啓発	地域経済課	
46	企業内人権教育担当者研修講座	人権啓発課	
47	ワーク・ライフ・バランスの普及活動（企業・事業者・団体等）	男女共同参画推進センター	
48	「まどんな応援企業宣言」認証制度	男女共同参画推進センター	
49	まどんな応援企業の周知啓発	男女共同参画推進センター	
50	ワーク・ライフ・バランスの普及啓発（市民）	男女共同参画推進センター	
51	メンターの育成	市民生活課	
52 (82)	若者のライフデザイン支援事業	男女共同参画推進センター	
53	家族経営協定の推進	農業委員会事務局	
54	松山市農村生活研究グループ連絡協議会活動補助金	農水振興課（農業指導センター）	
55	次世代農業者サポート事業	農水振興課	
56	松山市人材育成事業補助金事業	地域経済課	
57	女性の起業支援	地域経済課	
58	松山市テレワーク在宅就労の促進	地域経済課	
59	女性の再就職支援	地域経済課	
60	高齢者雇用対策事業	地域経済課	
61	「松山市高齢者福祉計画」の進捗管理	高齢福祉課	
62	「松山市障害福祉計画」の進捗管理	障がい福祉課	
63 (28)	国際性豊かな人づくり【再掲】	観光・国際交流課（公益財団法人松山国際交流協会）	
64	市民からの各種相談への対応	市民生活課	
65	若者の正社員化及び就労訓練	地域経済課	
66	ひとり親家庭等自立促進計画の策定と進捗管理	子育て支援課	
67	待機児童ゼロに向けた取り組みと「松山市子ども・子育て支援事業計画」の進捗管理	保育・幼稚園課・子育て支援課	
68	子育て援助活動支援事業【ファミリー・サポート・センター事業（育児）】	男女共同参画推進センター・子育て支援課	
69	子育てに関する情報の発信	子育て支援課	
70	子育て家庭の送迎等支援	子育て支援課	
71	ファミリー・サポート・センター（介護）	高齢福祉課	
72	介護予防と認知症サポーターの養成	介護保険課	
73	対策本部運営事業	防災・危機管理課	主要課題5 地域防災分野での男女共同参画
74	自主防災組織育成事業	防災・危機管理課	
75	松山のひととまちを守る！防災士養成事業	防災・危機管理課	
76 (38)	地域等の場で活躍できる各種人材の育成（女性防火クラブ）【再掲】	地域消防推進課	
77	松山市地域防災計画の進捗管理	防災・危機管理課	
78	啓発推進事業	防災・危機管理課	
79	みんなの消防フェスタ開催事業	地域消防推進課	
80	災害用物資資機材整備事業	防災・危機管理課	
81	学校等との連携による男女共同参画の意識啓発	人権啓発課	
82 (52)	若者のライフデザイン支援事業（再掲）	男女共同参画推進センター	主要課題6 教育分野での男女共同参画
83	地区人権教育の推進	人権啓発課	
84	人権教育研究会の開催	人権啓発課	
85	人権啓発フェスティバルの開催	人権啓発課	
86	キャリア教育の支援	男女共同参画推進センター	
87	子どもから広がるいじめ0ミーティング	学校教育課	
88	元気活力支援事業	地域学習振興課	
89	男女共同参画に関する出張講座の開催	男女共同参画推進センター	
90 (39)	男女共同参画の視点を持つための学習機会の提供【再掲】	男女共同参画推進センター	

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	1
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-1	暴力に対する社会的認識の徹底と相談体制の充実		
事業名	市民に対するDV(ドメスティック・バイオレンス)等に関する啓発			
担当	市民生活課・男女共同参画推進センター			
事業概要	市民に対し、DV(ドメスティック・バイオレンス)・セクシュアルハラスメント等について広く周知を行う。特に11/12～25「女性に対する暴力をなくす」運動期間には、シンボルカラーであるパープルのリボン運動等を実施する。			
数値目標	啓発人数(累計)3,000人			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	「女性に対する暴力をなくす」運動期間に合わせて、コムズ1階ロビーでDVやパープルリボン運動に関する各種情報を提供したほか、市から恵与されたポケットティッシュ(「DV相談ナビ」の周知カード入り)や公益財団法人松山市男女共同参画推進財団が作成したDVチェックリストを配布し、意識啓発に努めた。またコムズ2階図書コーナーでは、ブックフェア「ジェンダーと暴力」をとおして意識啓発を行った。				
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	217人			1点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)					

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)	4点
----------------------	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、DVチェックシートやポケットティッシュはロビーの机の上に置く形での配布を行ったが、今後はコロナ禍であっても効果的な啓発が実施できる検討する。
-------	---

5. 成果	DVチェックシートは112枚配布することができ、DVについての意識啓発につながったものとする。
-------	---

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	2
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-1	暴力に対する社会的認識の徹底と相談体制の充実		
事業名	市職員に対するDV(ドメスティック・バイオレンス)等に関する啓発			
担当	人事課・市民生活課			
事業概要	全市職員に対し、DV・セクシュアルハラスメント等について広く周知を行う。随時、イントラネットを通じた情報発信や庁内放送を通じた周知啓発を実施する。			
数値目標	周知回数2回以上／年			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	全庁に発信している「コンプライアンス通信」(人事課)及び「安全衛生だより」(職員厚生課)で、セクシュアルハラスメントの庁内相談窓口を継続して周知するとともに、「コンプライアンス通信」(R3年6月号)及び「安全衛生だより」(R4年3月号)ではセクシュアルハラスメントの防止をテーマに取り上げ、周知啓発を行った。 また、各種研修会で周知を行い、職員のセクシュアルハラスメント防止に関する意識の向上に努めた(R3年4月実施 新規採用職員研修、R3年6月実施 新任課長研修、R3年9月実施 採用2年目職員研修・職場のメンタルヘルス研修)				
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	23回			5点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)					

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	4点
-----------------------	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	セクシュアルハラスメント防止と健全な職場環境の確保のため、今後も職員への周知啓発を継続する必要がある。
-------	---

5. 成果	セクシュアルハラスメントについて、全庁発信で広く継続周知することができた。また、各種研修会で、参加職員に対し、より具体的な内容を伝える機会を設けたことで、効果的な周知啓発が実施できた。
-------	--

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	3
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-1	暴力に対する社会的認識の徹底と相談体制の充実		
事業名	若年層に対するデートDV等に関する啓発			
担当	市民生活課・男女共同参画推進センター			
事業概要	愛媛県、大学生ボランティアグループ、大学等と連携し、若年層に対するデートDV防止に向けた周知啓発活動を行う。被害者の多くは女性であることから、特に、11/12～25「女性に対する暴力をなくす」運動期間には市内大学等において、広報活動を行う。			
数値目標	啓発人数(累計)300人			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	新型コロナウイルス感染症の影響により、大学に出向いての周知活動は中止としたが、愛媛大学で啓発用のポケットティッシュの配布にご協力いただいた。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	300人	5点	※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	4点
-----------------------	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	例年は、みきゃんやはっぴーカバーくんの着ぐるみを着て、大学生に直接啓発グッズを手渡す活動を行っており、その場で反応なども確認できていたが、昨年度に引き続き今年度もそれができなかった。コロナ禍での効果的な周知啓発方法を検討していく必要がある。
-------	--

5. 成果	
-------	--

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	4
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-1	暴力に対する社会的認識の徹底と相談体制の充実		
事業名	DV等に関する学習会の実施			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	深刻な人権侵害であり、社会問題となっているDVの問題解決にむけた学習会を実施し支援を行う。			
数値目標	参加人数40人			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	新型コロナウイルスの影響で、家庭で過ごす時間が増えるなど、子どもから大人まで生活環境の変化を強いられ、それがストレスとなってDVにつながる危険性もはらんでいる。そこで、「コロナ禍においての家族の在り方」をテーマに、臨床心理士を講師に招聘し、DV防止啓発講座を11月27日に開催した。			
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	参加人数15人			2点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)				

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	5点
-----------------------	----

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	新型コロナウイルスの終息が見通せない中、今後は、来場参加とオンライン参加を併用するハイブリッド形式で講座を開催することを検討する。
-------	---

5. 成果	参加者アンケートから、DV防止への理解が深まったことがうかがえる。
-------	-----------------------------------

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	5
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-1	暴力に対する社会的認識の徹底と相談体制の充実		
事業名	DV等に関する相談の実施			
担当	子育て支援課・男女共同参画推進センター			
事業概要	現在、DV被害の相談には、福祉・子育て相談窓口や松山市男女共同参画推進センター、子ども総合相談センターで相談を受け付けている。男女間の暴力に対応する際には、愛媛県や警察、配偶者暴力相談支援センター等関係機関と連携し、安全に配慮した迅速な対応及び支援を行う。			
数値目標	周知回数1回以上／年			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	相談機関に関する情報を、チラシやパンフレット、ホームページへの掲載等で周知した。 令和3年11月から「こども・子育て・DVらいん相談@まつやま」を開設した。 コムズにおいては、「女性に対する暴力をなくす」運動期間(毎年11月12日～11月25日)に合せ、女性の人権に関する映画上映会やDV防止のための学習会を実施した。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	2回		5点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	5点
-----------------------	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	参加者数は、女性の人権に関する映画上映会94人(2回上映)、DV防止学習会15人であり、参加者数のさらなる増加をめざす。
-------	--

5. 成果	映画上映会で実施した参加者アンケートで「女性に対する暴力をなくす運動」の認知度を尋ねたところ、「知らなかった」と回答の方が97%であり、DVをはじめとする「女性に対する暴力をなくす運動」の意識啓発において一定の効果があったと思われる。
-------	---

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	6
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-1	暴力に対する社会的認識の徹底と相談体制の充実		
事業名	DV等に対応する相談員の資質の向上			
担当	子育て支援課・男女共同参画推進センター			
事業概要	相談内容に適した対応を迅速且つ的確に実施するため、本市において応対する婦人相談員の専門知識と相談対応能力の向上に取り組む。			
数値目標	研修参加1回以上／年			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	「配偶者からの暴力相談担当職員基礎研修」(オンライン開催)に婦人相談員1名が参加した。 「全国婦人相談員・心理判定員研究協議会の研修」(オンライン開催)に婦人相談員1名が参加した。 「婦人相談員等研修会」(オンライン開催)に婦人相談員1名が参加した。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	3回	5点	※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	4点
-----------------------	----

チェック欄			
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	今年度も新型コロナの影響により、開催方法の変更があった。今後は、研修方法を検討し、資質低下にならないよう努める必要がある。
-------	---

5. 成果	参加者による課内での情報連携・共有を行い、専門知識や相談対応能力の向上を再確認することができた。
-------	--

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	7
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-1	暴力に対する社会的認識の徹底と相談体制の充実		
事業名	苦情の適切かつ迅速な処理			
担当	市民生活課			
事業概要	関係機関に寄せられた苦情等について、誠実に受け止め、適切かつ迅速に処理する。また、各課が窓口となっている苦情の受付では、より良い対応を行うため内閣府が発行しているガイドブックを活用する。			
数値目標	—			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	内閣府が発行しているガイドブックで、他市事例などを研究した。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	—	—	点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	4点
-----------------------	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	学習する機会が、ガイドブックしかないため、今後オンライン学習などがあれば積極的に参加していきたい。
-------	---

5. 成果	具体的な事例を知ることで、どういったことが問題になるのか、他市では問題解決のためにはどのような工夫をしているかなどを学ぶことができた。
-------	---

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	8
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-2	自立に向けた総合的な支援体制の充実		
事業名	DV被害者支援庁内連絡会議の運営			
担当	子育て支援課			
事業概要	関係課で構成するDV被害者支援庁内連絡会において、被害者情報を速やかに共有する。また、支援の重要性を徹底し、支援方法や注意事項などについての情報を共有するとともに、職員の意識向上を図るために研修の機会を設ける。			
数値目標	研修開催1回以上／年			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	9月22日に愛媛県ドメスティック・バイオレンス防止対策連絡会が、書面開催され、情報共有を行った。 2月8日にDV被害者庁内研修会を書面開催し、22の関係課と情報共有を行った。				
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	2回			5点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)					

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	4点
-----------------------	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	庁内担当者に対し、DV支援に関する基本的な内容の研修を毎年実施しているが、スキルアップした内容も検討することや、担当者異動に伴う引き継ぎにおいても周知徹底を行う。 新型コロナの影響で書面開催となった。
-------	---

5. 成果	課内での情報連携・共有を行い、専門知識や相談対応能力の向上を再確認することができた。 庁内でDV被害者への支援体制について、周知徹底ができた。
-------	--

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	9
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-2	自立に向けた総合的な支援体制の充実		
事業名	DV被害者支援対応マニュアルの見直しと活用			
担当	子育て支援課			
事業概要	庁内全体で迅速かつ的確なDV被害者支援に努めるため、庁内支援体制についての対応マニュアルを適宜見直す。			
数値目標	マニュアルの確認1回以上／年			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	DV被害者庁内研修会で、「各課のDV支援と連携」や「関係機関によるDV支援」などを紹介し、担当者への周知徹底を図った。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	1回	5点	※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	3点
-----------------------	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	各課の担当者が変更となった際、新たな担当者に「DV被害者支援対応マニュアル」について把握してもらう必要がある。 新型コロナの影響で書面開催となった。
-------	---

5. 成果	庁内でDV被害者への支援体制について、周知徹底ができた。
-------	------------------------------

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	10
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-3	関係機関・団体との連携による暴力への対処等		
事業名	関係機関との連携			
担当	子育て支援課			
事業概要	愛媛県や警察、県内市町などで構成する連絡会議での情報共有を行う。			
数値目標	連絡会議開催1回以上／年			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	2月7日に、愛媛県主催の「愛媛県ドメスティック・バイオレンス防止対策連絡会地域別ブロック担当者会」(オンライン開催)に婦人相談員1名が出席し、情報共有を行った。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	1回		5点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	4点
-----------------------	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	新型コロナの影響により、オンライン開催となった。
-------	--------------------------

5. 成果	参加者による課内での情報連携・共有を行い、専門知識や相談対応能力の向上を再認識することができた。
-------	--

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	11
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-3	関係機関・団体との連携による暴力への対処等		
事業名	地域におけるDV等被害者の早期発見			
担当	市民生活課			
事業概要	地区防犯協会等と連携し、市民に対し、改正DV法や改正ストーカー規制法の周知啓発、相談機関に関する情報提供を行う。また、研修会の機会を通じて、松山市防犯協会推進員等に対し、周知啓発を行う。			
数値目標	周知回数1回以上／年			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	全国地域安全運動(10/11～20)に合わせ、公益財団法人全国防犯協会連合会発行の女性安全マニュアルを各支部防犯協会や商業施設において配布啓発活動を行った。			
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	1回			5点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)				

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	4点
-----------------------	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	全国地域安全運動期間に限らず、周知啓発をおこなうことが必要。
-------	--------------------------------

5. 成果	多くの人に周知啓発を行うことができた。
-------	---------------------

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	12
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援		
実行項目	1-2-1	心と体の健康づくりの支援		
事業名	松山市健康増進計画「健康ぞなもし松山」の進捗管理			
担当	健康づくり推進課			
事業概要	市民一人一人の生涯にわたる心と身体の健康の保持増進を目標に、市民が主体的に健康づくりに取り組むための支援や、健康づくりのための環境整備を行う。			
数値目標	参加人数6,000人/年			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	新型コロナウイルス感染症拡大防止に重点を置いて各事業の実施時期を延期したり、定員の削減やオンラインでの開催等に変更するなどして実施した。 【実績】 出前健康講座 159人、ヘルスボランティア養成研修会15人、住民参加型健康づくり事業 66人、依頼健康教育 58人、乳幼児健康教育 243人、がん予防重点健康教育 219人、市民公開講座 42人、住民組織支援 938人、合計 1,740人		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	1,740人	1点	※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	5点
-----------------------	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	集団教育での男性の参加が多くなってきたが、未だ女性の参加率が高い。 健康無関心層への周知啓発の検討が引き続き必要がある。 新型コロナウイルス感染症への対策が必要で、従来通りの実施は困難である。
-------	--

5. 成果	生涯を通じた男女の健康支援は継続の必要があるため、オンライン形式や感染症対策の徹底するなどして、周知啓発を行った。
-------	---

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	13(27)
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援		
実行項目	1-2-1	心と体の健康づくりの支援		
事業名	自殺予防対策			
担当	保健予防課			
事業概要	自殺の背景には、健康問題、経済・生活問題、家庭問題等、様々な社会的要因が複雑に関係していることから、市民サービスを行う課(46課50人程度)の担当者が、本市における自殺の現状や自殺対策について正しい知識を習得するとともに、各課の相談窓口等の共通認識を図り、庁内ネットワークを構築することで、自殺予防対策を推進する。			
数値目標	担当職員数(累計)200人			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	新型コロナウイルス感染症対策のため、庁内担当者会は書面開催とした。担当者には市職員ゲートキーパーとして、日々の取組みや課題を提出していただき、対応困難な事例について、医師のアドバイスを受け、書面にて事例検討を行った。 (R3年度まで庁内担当者職員数(累計):264名)		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	264名	5点	※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	3点
-----------------------	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	長期化する新型コロナウイルス感染症の影響で自殺者数の増加が懸念されるが、庁内関係課等の連携をより一層強化し、「生きることの包括的な支援」として自殺対策を推進することが必要である。
-------	---

5. 成果	担当者会は書面開催となったが、庁内各課のゲートキーパーとしての取り組みや困難事例の対応方法を共有し、各課が今後の対応方法を検討する機会になった。
-------	--

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	14
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援		
実行項目	1-2-1	心と体の健康づくりの支援		
事業名	女性のための相談			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	女性を対象に、女性相談員が心や人間関係等について、電話や面談による相談を行う。 毎日10:00～20:00（日祝10:00～16:00、木曜日、休館日は除く）			
数値目標	相談件数1,200件			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	女性電話相談:1,343件、女性面接相談:72件 合計:1,415件		
	相談の内容は「情報・暮らし」が最も多く18.9%を占め、次いで「こころ」14.8%、「人間関係の悩み」「健康」がともに13.1%となっている。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	相談件数1,415件	5点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度（0～5点）	5点
----------------------	----

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、面接相談件数が減少した。 新規相談者を増やすため、相談室の周知に努め、相談の方法を検討していく。
-------	---

5. 成果	新型コロナウイルスへの感染が続く中、多様化する相談に、関係機関と連携し、問題解決に取り組んだ。 相談内容については、結論が欲しいというよりも、話を聞いてほしいというものが多く、傾聴に努めることで、心のつかえを取り除くようにしている。
-------	---

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	15(26)
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援		
実行項目	1-2-1	心と体の健康づくりの支援		
事業名	男性のための相談			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	男性を対象に、男性相談員が心や人間関係等について、電話や面談による相談を行う。毎月第2水曜日・第4土曜日に18:30～20:30 心理相談員1名が受け付けている。			
数値目標	相談件数70件			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の 取組内容	毎月第2水曜日・第4土曜日の18:30～20:30 男性心理相談員1名が対応 男性電話相談＝26件、 男性面接相談＝35件 合計61件 相談内容で、最も多かったのは「仕事21件」(34.4%)、次いで「情報・暮らし14件」(23.0%)、「人間関係6件」(9.8%)、「健康」5件」(8.2%)となっている。			
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	相談件数61件			4点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)				

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	5点
-----------------------	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	新型コロナウイルスの感染拡大の影響のためか、予約を入れたにもかかわらず欠席件数が増加し、相談件数(71件)が昨年度より10件減少した。 また、繰り返し利用されている人も一定数いるとみられる(匿名のため人数は未把握)ことから、新規の利用者の確保が近々の課題である。
-------	--

5. 成果	男性相談員が傾聴に努めることで、相談者の心の拠り所となっている。
-------	----------------------------------

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	16
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援		
実行項目	1-2-2	健康をおびやかす問題についての対策の推進		
事業名	保護者等を対象とした講演会等			
担当	健康づくり推進課・保健予防課・保健体育課			
事業概要	(1) 児童・生徒が、性や喫煙の害についての正しい知識を持つことができ、保護者が家庭における性教育に関心を持ち、子どもの心と体の健康について理解を深めることができるよう健康教育を行う。 (2) 小中学生や保護者等を対象に、性や心と体の健康についての講演会を行い、また、授業の中で喫煙防止教育を行う。 (3) 市内の中・高生を対象にエイズ予防についての正しい知識を持ち、予防及び人権的配慮ができるように支援する。			
数値目標	参加人数(1)100人(2)5,200人(3)2,000人			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	(1)大学生を対象に、助産師と保健師の講義を実施。現在の学生が直面する身体的な問題(月経トラブル・不正出血・ダイエット・受診への抵抗感)や今後経験しうる妊娠・出産について(平均時期・原理・妊孕率・高齢出産・不妊)、ライフサイクルやたばこ・アルコールの健康被害について周知啓発をした。 【実績】松山東雲女子大学・短期大学の学生178名 (2) 16校、計4,053人の生徒・教職員・保護者を対象に、子どものメンタルヘルス及び、性に関する講演会を実施したほか、小学校6年生と中学校2年生を対象に、喫煙防止の授業で活用できるリーフレットを配付した。 (3)3校541人を対象にHIVとエイズの違い、性的マイノリティー、デートDV等についての内容で講義を実施した。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	(1) 178人(2)4,053人(3)541人	(1) 5点(2)3点(3)1点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	(1) 4点 (2)4点 (3)3点
-----------------------	--------------------

		チェック欄 (1)	(2)	(3)
実施前	① 松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓	✓	✓
	② 事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した		✓	
	③ 広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓	✓	✓
実施後	④ 男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓	✓	✓
	⑤ 検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓		

4. 課題	(1)講義で使用する会場の下見を実施することができず、スライドの文字の大きさが受講者から見たときに小さかった。講義時間に比べてテーマごとの内容量が多かった。会場規模の確認、時間配分や受講者を飽きさせない工夫、情報の取捨選択を行う必要がある。 (2)講演会については、リモート授業等を取り入れることで、令和2年度に比べ、受講者数は増加したが、性教育の内容に男子の性についての内容を取り入れるべきとの意見が医師等からあった。 (3)新型コロナウイルス感染症の影響で、講演会の申し込み数の低下及び、講演の中止があった。オンラインによる講演会など感染対策に配慮した講演会の開催方法についても検討する必要がある。
-------	---

5. 成果	(1)講義は大学生を対象を絞り、自身の生活にすぐ取り入れることができる内容であったため、受講後のアンケートでは97%が参考になった、大変参考になったとの回答だった。また、女性の健康に関して幅広いテーマで講義を行ったため、より多くの人の興味関心を引きつけることができた。 (2)性教育推進委員会に泌尿器科医を加え、男子の性についても相談できるようにした。喫煙防止リーフレットは男女共同参画に配慮した内容で配付した。 (3)講義を通して、「エイズ検査が保健所で無料匿名で受けられると分かった」「コンドームを付けて対策したい」などの感想があり、エイズの予防に関する知識などの啓発をすることができた。
-------	--

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	17
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援		
実行項目	1-2-2	健康をおびやかす問題についての対策の推進		
事業名	エイズ等特定感染症対策事業			
担当	保健予防課			
事業概要	HIV抗体検査、肝炎ウイルス検査、風しん抗体検査等の特定感染症検査及び相談を実施するとともに、正しい知識の普及啓発を実施。			
数値目標	検査及び相談数3,500件			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	HIV抗体検査176件、電話・来所相談207件、肝炎ウイルス検査928件、風しん抗体検査698件を実施。HIV検査普及週間(6月1日～7日)、世界エイズデー(12月1日)に合わせて、関係機関や高校、大学、専門学校、風俗店などに対してエイズ相談のフライヤーやエイズ・性感染症に関するリーフレットを送付。また、世界エイズデー(12月1日)にあわせて愛媛県中予保健所、南海放送と共催でオンラインキャンペーンを実施し、クイズ正解者115名に対してマスクケース等を送付した。				
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	約2,009件				3点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)					

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	5点
-----------------------	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	新型コロナウイルス感染症の影響で保健所で実施しているエイズ相談を中止している期間があり、HIV抗体検査の件数及び相談件数の減少がみられている。エイズ相談を再開できるようになった際にはなるべく多くの人に再開したことが伝わるように周知していく必要がある。
-------	---

5. 成果	エイズ相談は匿名かつ他の来所者とは顔を合わせないようプライバシーに配慮して実施している。パートナーとの性生活など幅広い相談をしており、正しい知識の普及啓発を行った。また、世界エイズデーに合わせて実施したオンラインキャンペーンでは、クイズに参加した幅広い世代の方に対して啓発をすることができた。
-------	--

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	18
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援		
実行項目	1-2-3	母子保健の充実		
事業名	母子保健育児支援事業、妊娠・出産支援事業			
担当	健康づくり推進課			
事業概要	母子の健康の保持増進及び育児支援を図るため、妊娠期・乳幼児期の遺伝・育児・栄養などに関する健康教育や健康相談、訪問指導を実施し、また、心身のつまずきのある幼児とその保護者を対象の療育指導を行うことにより発達を促し、育児不安の軽減を図る。①マタニティ相談②パパ・ママのための教室③すくすく相談④モグモグ相談⑤発達相談⑥かんがるークラブ⑦なかよし教室⑧5歳児相談⑨訪問指導(こんにちは赤ちゃん訪問含む)⑩松山市母子保健推進員養成講座⑪遺伝相談			
数値目標	参加人数16,000人			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の 取組内容	集団開催の事業は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催休止や定員削減、オンラインでの開催等に変更して実施した。個別の相談や訪問は、体調確認や感染予防策を講じながら継続して実施した。 ①マタニティ相談会 6人(R2年度末で事業終了、R3はオンライン育児講座「マタニティライフをすこやかに」) ②パパ・ママのための教室 118人(オンラインでのみ実施)③すくすく相談 4,356人 ④モグモグ相談 920人 ⑤発達相談 395人 ⑥かんがるークラブ 52人 ⑦なかよし教室 270人 ⑧5歳児相談 117人 ⑨訪問指導 5,969人 ⑩松山市母子保健推進員養成講座 46人 ⑪遺伝相談 0人				
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	12,249人			3点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)					

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)	4点
----------------------	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	生涯を通じた男女の健康支援に加え、父母で子育てするための契機づくりや、男女共同参画の意識啓発を各事業を通じて行っているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の視点から、参加者の人数制限や外出行動の自粛などが影響し、参加数がやや低めとなっており、現状では致し方ないと考えている。
-------	---

5. 成果	生涯を通じた男女の健康支援のために、各事業をオンライン化するなど、新型コロナ感染症流行期でも事業を継続する工夫をした。継続的に実施することで参加者の支援につながり、成果につながると考えられる。
-------	--

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	19
重点目標	1-3	メディアでの男女の人権の尊重		
実行項目	1-3-1	情報活用能力(メディア・リテラシー)の向上支援		
事業名	ネットトラブルから子どもを守る取り組み			
担当	市民生活課			
事業概要	インターネットは、手軽に情報受発信ができ、私たちのライフスタイルに大きな影響を与えている。社会経験が少ない子どもたちをネットトラブルから守るため、NPO等の市民活動団体との連携によるインターネット安全教室の実施を行うなど、メディア・リテラシーの啓発を行う。			
数値目標	周知回数1回以上／年(50学級)			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	令和3年度の安全教室について、令和2年度末に市内の小中学校に対して受講希望の周知を行った。その結果令和3年度は、NPO法人日本ガーディアン・エンジェルス松山支部によるインターネット安全教室を37教室(小学校36、中学校1)と、愛媛県警人身安全対策・少年課による情報モラル教室を24教室の計61教室実施した。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	周知回数1回／年(61学級)		5点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	3点
-----------------------	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、教室の開催を見送る学校があったため、教室数が伸び悩んだ。 感染防止対策により一層配慮して、感染対策の面からも安心して教室を受けられるように検討する必要がある。
-------	---

5. 成果	この教室を通じて、小中学生にインターネットの危険性や正しい知識を伝えることで、安全安心に対する意識の向上につながっている。 先生方からも、既存の授業との相乗効果が期待できるなどとして、好意的な意見をいただいている。
-------	--

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	20
重点目標	1-3	メディアでの男女の人権の尊重		
実行項目	1-3-2	公的広報等で男女共同参画の視点に立った表現の促進		
事業名	男女共同参画の視点からの公的広報の実施			
担当	市民生活課			
事業概要	公的広報(広報やホームページ、その他市が発行する印刷物等)においては、男女の多様なイメージが社会に浸透していくような表現にすることが求められている。平成25年度に改定した「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」の内容を市役所の各部局等に周知し、松山市が発信するあらゆる情報について男女共同参画に配慮した表現を推進する。また、必要に応じて適宜手引きの見直しを実施する。			
数値目標	周知回数1回以上／年			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	内閣府が作成した、性別による固定的役割分担や無意識の思い込みの解消するためのイラストをもとに手引きの改訂を検討した。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	0回		0点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	4点
-----------------------	----

チェック欄			
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」の改定から8年以上経過するため、内閣府が作成したイラストを取り入れ、時代の流れに沿ったものに改定を進めていく必要がある。
-------	--

5. 成果	
-------	--

主要課題	2	社会制度・慣行の見直し～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	21
重点目標	2-1	社会での制度や慣行についての配慮		
実行項目	2-1-1	男女共同参画に関する啓発・広報活動の推進		
事業名	市民が主体となった男女共同参画の意識啓発			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	コムズフェスティバルにおいて、市民グループ等が主体となり、男女共同参画に関する講演会・学習会等を市民企画分科会として実施する。分科会の企画立案や準備にあたっては、有識者やセンター職員が男女共同参画の視点からアドバイスを行うとともに、実行委員相互の交流を深める機会とする。			
数値目標	参加人数600人			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	市民企画分科会に11団体から応募があり、選考審査会の結果、8団体が市民企画分科会を実施した（1団体は辞退）。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年度に引き続き、愛媛CATVによる収録放送となった。報告交流会は3月12日（土）にオンラインで開催し、全8団体が出席した。メイントークイベントは市民の利便性を考慮し、YouTubeによるオンライン配信（158名）と期間限定のアーカイブ配信（194名）を行い、合計視聴者数は352名であった。		
2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	基調講演352人（愛媛CATV視聴者数：不明）		3点
※達成度 0%（0点） ～29%（1点） 30%～49%（2点） 50%～79%（3点） 80%～99%（4点） 100%以上（5点）			

3. 男女共同参画への配慮度（0～5点）		5点
----------------------	--	----

チェック欄			
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	新型コロナウイルスの感染拡大時期は集客ができないため、開催の代替方式として、幅広い年代の市民が利用しやすいYouTube配信を活用したり、愛媛CATVの協力を得ての収録放映を行うなど、今後も引き続き、コムズフェスティバルの参加が増えるよう開催方法を検討する。
-------	---

5. 成果	コロナ禍では来場者数の制限が必要だが、今回、メイントークイベントはYouTube配信を行ったことにより、実績がコロナ前の「来場参加」の時よりも多い352人となった。市民企画分科会の報告交流会もZoomによるオンライン開催としたが、各団体から課題と成果の報告を受けて有識者から助言をいただき、また、2グループに分かれての情報交換も行うことで団体同士の交流が深まり、来年度に向けての提言も得ることができた。
-------	---

主要課題	2	社会制度・慣行の見直し～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	22
重点目標	2-1	社会での制度や慣行についての配慮		
実行項目	2-1-1	男女共同参画に関する啓発・広報活動の推進		
事業名	男女共同参画に関する情報の収集及び提供			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	図書・資料の収集や提供、情報誌「コムズ」の発行、インターネットを活用した広報活動、学習資料の作成等を行う。			
数値目標	周知回数60回以上／年			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	男女共同参画の視点で書かれた図書等を19分野に分類し設置し貸出している。令和3年度は4,646点の貸出があった。 情報誌は2月に発行し、男女共同参画についての情報提供、当財団の事業報告を行った(1回)。 HPは講座開催時等、随時更新(111回)。Facebookは新たな情報が入り次第更新し(55回)、市民に最新の情報発信を行った。 学習資料は「世界ひろがるコムズの本棚 ～自分らしく生きる、を絵本から。～」を作成し、図書コーナーに設置したほか、コムズおはなし会申込者や、保育園・幼稚園、図書館等、各関連機関等に配布した(1回)。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	168回	5点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	4点
-----------------------	----

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	新型コロナウイルスの感染拡大のため図書コーナーが利用休止となったこともあり、図書コーナーの利用者は、前年度に比べて減少した。しかし、ブックフェアを開催するなど、本の紹介を行い、コロナ禍でも図書コーナーの利用者増加を図りたい。
-------	--

5. 成果	男女共同参画の視点を持つ絵本をテーマに学習資料を作成したが、この時冊子だけでなく、ホームページに絵本の一覧表を掲載し、紹介した絵本を収集して図書コーナーで貸出できるようにした。 講座講師がFacebookを利用していたことで、講師による告知が集客へとつながった。
-------	--

主要課題	2	社会制度・慣行の見直し～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	23
重点目標	2-1	社会での制度や慣行についての配慮		
実行項目	2-1-1	男女共同参画に関する啓発・広報活動の推進		
事業名	人権啓発推進員の養成			
担当	人権啓発課			
事業概要	市内41地区公民館等から推薦された方を「人権啓発推進員」に認定し、人権教育・啓発に関する地域のリーダーとしての資質の向上、意識の高揚を図ることにより、各地域における人権教育推進の組織整備・充実を目指すとともに、豊かな人権感覚と男女共同参画意識の拡大に努める。			
数値目標	認定者数1,000人(男性600人女性400人)			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	「人権啓発推進員経験者研修」(3回)「人権啓発推進員養成講座」(4回)をレポート形式で行った。また、人権啓発推進員による地域活動を行った。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	認定者数930人(男性570人女性360人)		4点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)		5点
-----------------------	--	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	人権啓発推進員による地域活動は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、前年度より減少した。今後も、性別等に捉われず、活動が増えるよう、引き続き啓発活動を行う。
-------	---

5. 成果	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年度に続き、会場開催からレポート形式に変更し実施した結果、前年度より受講者数は減少した。
-------	--

主要課題	2	社会制度・慣行の見直し～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	24
重点目標	2-1	社会での制度や慣行についての配慮		
実行項目	2-1-2	性別役割分担意識に基づく社会制度・慣行の見直し		
事業名	男女共同参画に関する各種実態調査			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	男女共同参画の推進のために、「男は仕事、女は家事育児」等、性別による固定的役割分担意識等の男女共同参画に関する市民の意識や、生活実態について、調査・分析を行う。分析結果は、事業展開や啓発活動の内容等を検討するための基礎資料とするとともに、市民に対し公表する。			
数値目標	—			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の 取組内容	松山市在住(住民登録している)の20歳 から79歳 までの男女3,000人を無作為抽出し、「男女共同参画に関する市民意識調査」を実施した。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	—		— 点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	4点
-----------------------	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	郵送ではなく、インターネットで回答したいという意見が見られた。回収率の増加をめざすため、インターネットでアンケートを実施するメリット・デメリットを考え、すべての方が回答しやすい方法を検討したい。
-------	---

5. 成果	松山市民3,000人を対象としたアンケートを実施し、1,353件(45.1%)を回収することができた。
-------	---

主要課題	2	社会制度・慣行の見直し～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	25(44)
重点目標	2-1	社会での制度や慣行についての配慮		
実行項目	2-1-3	男性にとつての男女共同参画		
事業名	男性の生活的自立や家事参加等に関する関連講座			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	男性を対象に、生き方について考える機会を提供するとともに、家事・育児・介護への参加促進学習機会となる講座を行う。			
数値目標	参加人数45人			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	令和2年度の参加者アンケートで「パートナーと参加したい」という要望が寄せられたため、ペアで参加する「おいしいコーヒーと簡単スイーツ教室」(11月5日)を開催。また男性料理教室(11月27日)や片付け講座(12月11日)も開催した。いずれも、家事参画のきっかけづくりやプライベートの充実をはかることを目的とし、女性に比べ講座に出向く機会が少ないとされる男性に、気軽に参加してもらえるよう工夫した。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	14名(3回合計)	2点	※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)	5点
----------------------	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	今年度は、参加対象を男性に限定した講座は男性料理教室のみで、他の2講座は対象を男女とした結果、男性の参加人数の累計は14名と例年より少なかった。男性の参加を増やすために、対象を男性に限定して、次年度は講座を実施していく。また男性料理教室はコロナ禍での開催であったため、例年より申込人数が少なかった。
-------	---

5. 成果	男性料理教室の参加者アンケートでは、参加者の9割が「料理の基本を学ぶことができた」「家でも実践してみようと思った」と回答し、日常生活の中で料理をするきっかけとなったことが推察される。
-------	---

主要課題	2	社会制度・慣行の見直し～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	26(15)
重点目標	2-1	社会での制度や慣行についての配慮		
実行項目	2-1-3	男性にととの男女共同参画		
事業名	男性のための相談【再掲】			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	男性を対象に、男性相談員が心や人間関係等について、電話や面談による相談を行う。毎月第2水曜日・第4土曜日に18:30～20:30 心理相談員1名が受け付けている。			
数値目標	相談件数70件			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の 取組内容	毎月第2水曜日・第4土曜日の18:30～20:30 男性心理相談員1名が対応 男性電話相談＝26件、 男性面接相談＝35件 合計61件 相談内容で、最も多かったのは「仕事21件」(34.4%)、次いで「情報・暮らし14件」(23.0%)、「人間関係6件」(9.8%)、「健康」5件(8.2%)となっている。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	相談件数61件		4点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	5点
-----------------------	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	新型コロナウイルスの感染拡大の影響のためか、予約を入れたにもかかわらず欠席件数が増加し、相談件数(71件)が昨年度より10件減少した。 また、繰り返し利用されている人も一定数いるとみられる(匿名のため人数は未把握)ことから、新規の利用者の確保が近々の課題である。
-------	--

5. 成果	男性相談員が傾聴に努めることで、相談者の心の拠り所となっている。
-------	----------------------------------

主要課題	2	社会制度・慣行の見直し～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	27(13)
重点目標	2-1	社会での制度や慣行についての配慮		
実行項目	2-1-3	男性にとつての男女共同参画		
事業名	自殺予防対策【再掲】			
担当	保健予防課			
事業概要	自殺の背景には、健康問題、経済・生活問題、家庭問題等、様々な社会的要因が複雑に関係していることから、市民サービスを行う課(47課50人程度)の担当者が、本市における自殺の現状や自殺対策について正しい知識を習得するとともに、各課の相談窓口等の共通認識を図り、庁内ネットワークを構築することで、自殺予防対策を推進する。			
数値目標	担当職員数(累計)200人			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	新型コロナウイルス感染症対策のため、庁内担当者は書面開催とした。担当者には市職員ゲートキーパーとして、日々の取組みや課題を提出していただき、対応困難な事例について、医師のアドバイスを受け、書面にて事例検討を行った。 (R3年度まで庁内担当者職員数(累計):264名)		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	264名	5点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	3点
-----------------------	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとつても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	長期化する新型コロナウイルス感染症の影響で自殺者数の増加が懸念されるが、庁内関係課等の連携をより一層強化し、「生きることの包括的な支援」として自殺対策を推進することが必要である。
-------	---

5. 成果	担当者は書面開催となったが、庁内各課のゲートキーパーとしての取組みや困難事例の対応方法を共有し、各課が今後の対応方法を検討する機会になった。
-------	--

主要課題	2	社会制度・慣行の見直し～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	28(63)
重点目標	2-2	国際交流と国際協力の促進		
実行項目	2-2-1	国際交流の促進		
事業名	国際性豊かな人づくり			
担当	観光・国際交流課(公益財団法人松山国際交流協会)			
事業概要	松山市から運営補助金を交付している公益財団法人松山国際交流協会が、中学生海外派遣など、青少年を対象とした国際交流・国際理解事業を実施することで、国籍や性別などに対する心の壁をつくることなく、多様な価値観を受け入れることができる人材を育成する。 ※(公財)松山国際交流協会では、毎年夏休みに中学生を3つの姉妹友好都市に派遣する「まつやま中学生海外派遣事業」を実施している。その応募資格となる、国際交流事業への参加を促す「中学生チャレンジプロジェクト」を実施しており、派遣前に松山で国際交流事業に参加し、その意義や楽しさを体感してもらうことで、「身近な国際体験⇒海外での実践⇒帰国後の貢献」の仕組みづくりに取り組んでいる。			
数値目標	中学生チャレンジプロジェクト参加者数100人			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	新型コロナウイルスの感染拡大により、令和3年度の中学生チャレンジプロジェクトは休止したが、新型コロナウイルス感染防止対策を講じてジュニア国際交流サロンなどを実施し、青少年の国際理解に努めた。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)			点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)		点
-----------------------	--	---

チェック欄			
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	新型コロナウイルスの感染拡大により、従来通りの海外との往来や、数多くの人が集まるイベントの実施は困難であるが、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底のうえ、国際交流・国際理解事業を実施し、多様な価値観を受け入れることができる人材を育成する。
-------	---

5. 成果	新型コロナウイルスの感染拡大により、令和3年度 of 中学生チャレンジプロジェクトは休止したが、新型コロナウイルス感染防止対策を講じてジュニア国際交流サロンなどを実施し、青少年の国際理解に努めた。
-------	--

主要課題	2	社会制度・慣行の見直し～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	29
重点目標	2-2	国際交流と国際協力の促進		
実行項目	2-2-2	国際協調・国際理解の推進と平和への貢献		
事業名	平和への取り組み			
担当	市民生活課			
事業概要	「北京宣言及び行動要領」で示された「平等・開発・平和」の目標を達成するため、本市では戦争遺品を展示する「平和資料展」や、市文化財となった「掩体壕」を活用し、平和の尊さや大切さについての理解を広げていく。			
数値目標	平和資料展来場者数6,300人			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	【平和資料展】令和3年7月22日～28日に松山市総合コミュニティセンターで開催した。松山市が保管している戦争遺品や市民から寄贈していただいた遺品、写真やパネルを展示し、平和に関するビデオを終日上映した。 【掩体壕】平成30年5月に掩体壕が松山市指定文化財に指定され、令和2年度に保存整備工事を実施し、令和2年11月28日から一般公開をした。令和3年度は約360名の方が見学を実施した。 【掩体壕と資料展見学会の実施】小中学生・保護者を対象に見学ツアーを実施。14組37名が参加した。		
2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	3,800人	3点	
※達成度 0%（0点） ～29%（1点） 30%～49%（2点） 50%～79%（3点） 80%～99%（4点） 100%以上（5点）			

3. 男女共同参画への配慮度（0～5点）	5点
----------------------	----

チェック欄			
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	掩体壕の利活用、平和資料展を実施して、戦争を知らない若い世代（小中学生）に対して、平和の尊さや大切さを伝えていく。
-------	---

5. 成果	平和資料展来場者数 約3,800人 令和2年度よりは増加した。コロナ禍の影響から来場者数はコロナ前と比べると少ないが、小中学生を中心に戦争の悲惨さや平和の尊さを伝えることができた。
-------	--

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	30
重点目標	3-1	市の政策・方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-1-1	審議会等への女性の参画促進		
事業名	女性登用率の向上促進			
担当	市民生活課			
事業概要	市の施策・方針決定過程への女性の参画を推進するため、本市の審議会等への女性の参画を進める「女性登用計画」を策定し、計画的に登用を進める。また、様々な分野で活躍する女性を登録した「松山市女性人財情報リスト」の充実を行う。			
数値目標	女性登用率40%			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	女性登用率は44.1%となり、昨年度に引き続き目標を達成した。女性人財リストは、新たに6人の登録があり、合計203人となった。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	44.1%	5点	※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	4点
-----------------------	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	松山市全体の女性登用率は昨年度に引き続き目標を達成したが、個々の審議会で見ると、まだ登用率が低いところもあるため、引き続き周知啓発していく必要がある。
-------	---

5. 成果	女性登用率は、各課担当者の地道な努力もあり、昨年度に引き続き目標を達成することができた。また、女性人財リストも、様々な分野の方の推薦があり、6人の方を新たに登録できた。引き続き、登録者を増やしていけるよう、大学や民間等と連携していきたい。
-------	---

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	31
重点目標	3-1	市の政策・方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-1-2	管理監督者への女性の登用促進		
事業名	男女共同参画に関する研修制度の充実			
担当	人事課			
事業概要	女性の活躍推進や人権に関する研修、また、障がい者福祉施設での体験研修を実施する。また、出産育児支援説明会を開催する。			
数値目標	研修参加人数400人			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	女性の活躍推進や人権に関する研修、また、出産育児支援説明会を開催した。 なお、障がい者福祉施設での体験研修については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	286人	3点	※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	4点
-----------------------	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考に企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮する必要がある。
-------	-----------------------------

5. 成果	新型コロナウイルス感染症に配慮し、研修規模を適正化して下記研修及び説明会を実施し、男女共同参画意識の徹底を図ることができた。 ※感染症の影響で急遽中止した研修は、受講予定者への資料配布で対応 ○新規採用職員研修 ・障がい者対応研修(92人受講) ○採用2年目職員研修 ・人権問題解決のために(77人受講) ○障がい者雇用に関するインストラクター研修(19人受講) ○新任課長研修(障がい者差別解消法研修)(28人受講) ○出産育児支援説明会(12人受講 10人資料配布) ○育児休業復帰支援相談会(5人受講 43人資料配布)
-------	---

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	32
重点目標	3-1	市の政策・方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-1-2	管理監督者への女性の登用促進		
事業名	松山市における女性職員の職域拡大および管理職の登用促進			
担当	人事課			
事業概要	松山市では、一部の小規模な部署を除き、全部署において女性職員を配属している。定期人事異動において女性職員の職域拡大を引き続き実施するとともに、女性職員の管理職登用の促進に努める。			
数値目標	10%以上			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	職務経験を通じたキャリア形成を支援するため、女性職員の職域拡大に努め、補助的・定型的業務に長期間継続して配置しないよう配慮した。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	10.8%		5点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	4点
-----------------------	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	課長級以上の管理職を担える世代の女性職員の人数が未だ少ない点。
-------	---------------------------------

5. 成果	女性職員自らが意欲アップ、能力アップにチャレンジできる職場環境の構築に繋がった。
-------	--

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	33
重点目標	3-1	市の政策・方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-1-2	管理監督者への女性の登用促進		
事業名	インターンシップ及び市役所業務説明会等			
担当	人事課			
事業概要	多様な人材を確保するため、インターンシップや業務説明会を通じて、広く学生に対して市行政についての理解を深める機会を提供する。			
数値目標	インターン人数46人			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	多様な人材を確保するため、インターンシップでは技術職向けのコースを拡充するなど、受入コースを見直して実施した。また、業務説明会はWEB形式で実施し、広く学生等に対して市行政についての理解を深める機会を提供した。				
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	53人			5点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)					

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	4点
-----------------------	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮する必要がある。 近年、採用試験の申込者が減少傾向にある職(技術職)に特化した機会を増やす必要がある。
-------	---

5. 成果	インターンシップについては、新型コロナウイルス感染症対策を行ったうえで実施し、概ね令和2年度以上の受入人数を達成し、本市の魅力を高め、理解を深める機会を提供することができた。 業務説明会についても、新型コロナウイルス感染症対策としてWEB形式で行うことで、遠方の方も含め、広く説明会参加の機会を提供することができた。
-------	---

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	34
重点目標	3-1	市の政策・方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-1-2	管理監督者への女性の登用促進		
事業名	女性活躍推進に関する特定事業主行動計画			
担当	人事課			
事業概要	女性活躍推進法に基づいた特定事業主行動計画を策定し、女性職員の活躍推進に向けた取り組みを行う。行動計画に沿って取り組むことで、女性職員だけでなく、男性職員にとっても働きやすく、働き甲斐のある職場環境の構築を目指し、組織力の強化を図る。家庭との両立、昇任への不安などを抱える女性職員については先輩職員を含めた交流会を行い、アドバイスをもらいながら、働き方やワーク・ライフ・バランス、キャリアアップについて一緒に考えるなど、個々のキャリア形成を支援する。			
数値目標	—			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	令和2年度に引き続き、令和元年度まで実施していた職員交流会を母体とした働き方改革プロジェクトチームを設置した。様々な年齢・職階の15名（男性：6名、女性9名）の職員が参加し、新たな施策を提案した。				
2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	—		—		点
※達成度 0%（0点） ～29%（1点） 30%～49%（2点） 50%～79%（3点） 80%～99%（4点） 100%以上（5点）					

3. 男女共同参画への配慮度（0～5点）	4点
----------------------	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	新型コロナウイルス感染症対策の長期化により、業務遂行上の課題や働き方に対する職員の意識が多様化している。
-------	--

5. 成果	提案のあった施策は、可能なものから実現に向けて進めており、様々な年齢・職階の、男女双方の意見を反映した、働きやすく、働き甲斐のある職場環境づくりの構築に繋げることができている。
-------	--

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	35
重点目標	3-2	地域・職場の方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-2-1	女性リーダーの育成		
事業名	女性の活躍推進(ジョカツ)			
担当	男女共同参画推進センター・市民生活課			
事業概要	各方面で活躍する女性リーダーの育成及びネットワークづくりを行うとともに、ロールモデルや取り組みを紹介するなど女性の活躍推進(ジョカツ)の機運醸成を図る。			
数値目標	ジョカツ関連講座等の開催1回／年			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	20代で起業した女性経営者を講師として招聘し、「女性活躍のために、今、あなたができること」というテーマで講演会を10月2日に開催。参加人数26名(女性22名 男性4名)。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	ジョカツ関連講座等の開催1回／年	5点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	5点
-----------------------	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	男女共同参画について非常にわかりやすい講演だっただけに、参加人数が目標を達することができなかったが課題である。 今後、若い世代の参加をさらに増やすために、SNSを活用した広報活動に取り組む必要がある。
-------	---

5. 成果	コムズ主催講座に初めて参加した人の割合が45.8%と高く、新規参加者を獲得できた。 20代～40代が41.7%と、通常より、若い世代の参加が多かった。 講演が「大変よかった」「よかった」と回答した人が100%と、参加者の満足度が高く、世代を超えて、女性活躍のために何が必要か考える機会を提供できた。
-------	---

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	36
重点目標	3-2	地域・職場の方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-2-1	女性リーダーの育成		
事業名	人材育成に関する講座			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	男女共同参画について基本的な知識を有し、家庭・地域・職場など様々な場で、男女共同参画の視点を持って活動することができる人材を育成するために、連続講座を開催する。			
数値目標	参加人数350人			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	連続講座は、「男女共同参画」「地域防災」「LGBT」について基礎から学ぶ「学びなおし講座」(全3回)を6月から7月にかけてオンラインで開催。参加人数25人。 公開講座は、ジェンダー論を専門とし、自ら家事・育児に積極的に参画している東京大学大学院の瀬地山角教授を講師に「笑って考えよう！家庭のこと 仕事のこと～男の家事が未来を変える～」というテーマで、10月30日にハイブリッド方式で開催。参加人数39人(来場参加18人・オンライン参加21人)。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	64人		1点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)	5点
----------------------	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	新型コロナウイルス感染拡大の影響で、連続講座は集客をせず、Zoomを使用してのオンライン開催としたが、申し込みが少なかった。
-------	--

5. 成果	参加者アンケートの結果では、「大変よかった」「よかった」の回答者が100%と、すべての講座で参加者の満足度が高く、男女共同参画について、質の高い学びの機会を提供できた。
-------	--

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	37
重点目標	3-2	地域・職場の方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-2-1	女性リーダーの育成		
事業名	地域等の場で活躍できる各種人材の育成(消費生活モニター)			
担当	市民生活課			
事業概要	商品の試売調査、実習、学習会を行い、地域のリーダーとして消費生活の向上改善に協力する消費生活モニターを育成する。			
数値目標	会議開催回数6回			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	令和2年度で事業を終了した。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)			一点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)		一点
----------------------	--	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	消費生活モニターは、事業開始から50年が経過し、SNSが普及するなど、消費者の情報収集の方法が大きく変わり、日中の学習会に参加できる層も減少するなどして、応募者が減っていることから、当モニター制度の役割は一定、終えたと判断され、令和2年度で事業を終了した。今後は、消費生活を取り巻く環境の変化に応じた消費生活講座や啓発を効果的に展開していく。
-------	---

5. 成果	これまでの消費生活モニターは延べ約900名
-------	-----------------------

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	38(76)
重点目標	3-2	地域・職場の方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-2-1	女性リーダーの育成		
事業名	地域等の場で活躍できる各種人材の育成(女性防火クラブ)			
担当	地域消防推進課			
事業概要	各地区で女性防火クラブが主体となって実施する地区研修会や防災かみしばい等の防火・防災に関する啓発活動を通じて、女性の視点を活かし、知恵と工夫を凝らした取り組みを展開し、女性の人材育成を図る。			
数値目標	実施地区37地区			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	令和3年度中に松山市内39地区で地区研修会を実施した。DVD視聴や防災講話の聴講を通じて防災意識を高めた。そのほか、女性ならではの視点を活かし、避難所運営訓練や応急救護訓練などに参加して訓練を効果的なものとした。さらに、各地区の保育園や幼稚園などに出向き、紙芝居を使用して防災教育を行うなど、啓発活動を実施した。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	実施地区39地区		5点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)	3点
----------------------	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	新型コロナウイルス感染症の影響で、規模を縮小しての活動が目立った。また、自主防災組織等との合同訓練や保育園・幼稚園への訪問を見合わせるなど、全体的に活動がしづらい状況であった。このような状況でいかに啓発活動をしていくかが課題である。
-------	--

5. 成果	各地区にある女性防火クラブのクラブ員が地区内で地域に根差した活動をしており、保育園・幼稚園の園児から親しみを持って受け入れられている。紙芝居などのツールを使用することで、楽しみながら防災教育を実施できた。また、各地区での研修は毎年継続して実施されており、クラブ員の防災意識を高めることができた。
-------	---

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	39(90)
重点目標	3-2	地域・職場の方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-2-2	地域・職場などの方針決定過程への女性の参画の拡大促進		
事業名	男女共同参画の視点を持つための学習機会の提供			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	男性の家事・育児・介護への参画、高齢者の社会参加の促進、市民グループ活動支援講座等、対象を明確にし、さまざまな年代層の市民が参加できる講座を開催する。			
数値目標	参加人数400人			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の 取組内容	「アンガーマネジメント講座」(6/2): 参加人数31人 「コムズおはなし会」(親子対象読み聞かせ)(7/17・11/20)【中止3回】: 延べ参加人数26人 「人生100年時代を生きるヒント」(全3回・8月～11月): のべ参加人数54人 「暮らしのスキルアップ講座」(全4回・10～12月): のべ参加人数72人 「男女共同参画防災講座 in 小学校」(11/9)【中止1回】: 参加人数127人 「乳幼児期からはじめる性教育～こころとからだの主人公になるために～」(11/20): 参加人数25人 「親子でトライ～育て！リケジョの卵たち～」【中止】			
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	参加人数335人			4点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)				

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	5点
-----------------------	----

			チェック欄
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	新型コロナウイルス感染拡大の影響で、17本のうち、中止となった講座が5本発生した。 オンライン開催に適さない講座もあるため、コロナ禍でいかに実績をつくるかが課題である。
-------	---

5. 成果	男女共同参画のすそ野を広げるために、市民の興味関心をそその内容で講座を企画し、多様な切り口で男女共同参画について考える機会を提供できた。
-------	--

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	40
重点目標	3-2	地域・職場の方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-2-2	地域・職場などの方針決定過程への女性の参画の拡大促進		
事業名	地域における男女共同参画の意識啓発			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	各催事等に出展したり、女性の様々な生き方や男女共同参画の視点で作られた映像作品を上映したり、男女共同参画や女性の能力活用について意識啓発を行う。			
数値目標	周知回数7回			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	県民大会や人権啓発フェスティバルといった県/市主催の催事に参加し、意識啓発に努めた(2回)。第1回映画上映会では、専業主婦として家を守ってきた女性と、仕事一筋で生きて来た女性が出会い、これからのため一歩を踏み出す内容の映画を上映し、男女共同参画について理解を深める機会を提供した。また、第2回映画上映会では、就職・結婚・子育て・再就職、といった人生の変化やそれに伴う女性の生きづらさを描いた作品を上映し、併せてトークゲストをお招きし、映画に関連した内容の講演を実施した。(2回)		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	4回	3点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	5点
-----------------------	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	新型コロナウイルス感染拡大の影響により例年参加している催事が中止になったことで、センター外でのパネル展示の機会が減少した。 また、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、2月の映画祭は中止とした。
-------	---

5. 成果	・催事の出演により、当センターの取り組みを知らなかった方へ向けても周知を図ることができた(1回)。 ・アンケートでは、「子育て中は男性は仕事、女性は開示、育児という分担が当たり前の時代でした。今日のお話を聴き、確かにこれからは夫婦で分担してやっていくべきだと思います。」「自分の人生とかぶって考えさせられました。」など、映画やトークの内容から、男女共同参画について考えていただくことができた(2回)。中には「松山に引越してきて、このようなすてきな企画に出会えてうれしく思っています。各冊子の配布もありがとうございました。また是非コムズに立ち寄りたい気持ちになりました。」という方もおり、気軽に楽しく足を運んでいただける場を提供することができた。
-------	---

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	41
重点目標	3-2	地域・職場の方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-2-2	地域・職場などの方針決定過程への女性の参画の拡大促進		
事業名	まつやま農業者セミナー			
担当	農業委員会事務局			
事業概要	女性の感性を活かした魅力ある農村作りに貢献できる環境整備を行うため、家族経営協定を締結した農家及び農業委員・関係機関を軸とした声掛けをし、男女農業者の交流、意見交換の場として、まつやま農業者セミナーを開催する。			
数値目標	参加人数(累計)90人			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	農業者と行政や各関係機関で他市町の農業への取り組みを視察し、意見交換会を行う予定であったが、新型コロナウイルス対策として、中止となった。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)			点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)		点
-----------------------	--	---

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	
-------	--

5. 成果	
-------	--

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	42
重点目標	3-2	地域・職場の方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-2-3	地域活動への参加促進		
事業名	地域のまちづくりへの女性参画促進			
担当	まちづくり推進課			
事業概要	「まちづくり協議会」では、様々な地域団体や企業、NPOなどの多様な主体が集まり、地域のまちづくりに関する話し合いや取り組みを行っている。今後、地域のまちづくりを一層充実したものにしておくためには、さらなる女性の参画が不可欠である。地域のまちづくりを支援する観点から、各地域で女性が参画しやすい環境づくりに取り組む。			
数値目標	啓発と女子会開催支援2回以上/年			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	令和3年度も新型コロナウイルスの影響から、例年開催している「まちづくり女子会」を開催できなかった。第2次地域におけるまちづくり基本計画の中間検証に伴う松山市地域におけるまちづくり推進委員会を2回開催し、委員10名中6名は女性に委嘱している。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)			3点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)		5点
-----------------------	--	----

チェック欄			
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	令和3年度も、新型コロナウイルス感染症の影響で、集まつの会議が難しい状況だったが、このような中でも、いかに啓発活動をしていくかが課題である。
-------	--

5. 成果	令和3年度の松山市地域におけるまちづくり推進委員会は、大学生やまち協の会長、NPO法人のマネージャーなどに就任していただくことで、幅広く意見を集めることができた。
-------	---

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	43
重点目標	3-2	地域・職場の方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-2-4	地域で活動する団体等の支援・連携促進		
事業名	市民活動団体等に対する支援・連携促進			
担当	まちづくり推進課			
事業概要	市内全域において公益活動を行っている、NPO等市民活動各団体に対し、支援を行い、連携を促進する。			
数値目標	周知啓発1回以上/年			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	NPOサポートセンターで2回開催した基礎講座において、講師に積極的に女性を採用するほか、講座のパンフレットにも女性の市民活動への参加を連想させる工夫を行った。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	周知啓発2回/年		5点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	5点
-----------------------	----

チェック欄			
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	セミナー参加者を増やし、更なる周知啓発に努める工夫が必要である。 また、講座の実施回数を増やすことができるよう、オンラインでの実施をこれまで以上に検討する必要がある。
-------	--

5. 成果	NPOなどの活動を通じて、女性の積極的な市民活動への参加を促したほか、NPO活動の中心的な役割を担うことに繋がると期待できる。
-------	---

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	44(25)
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女の均等な機会と待遇の確保		
実行項目	4-1-1	男性中心型労働慣行の見直し		
事業名	男性の生活的自立や家事参加等に関する関連講座【再掲】			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	男性を対象に、生き方について考える機会を提供するとともに、家事・育児・介護への参加促進学習機会となる講座を行う。			
数値目標	参加人数45人			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	令和2年度の参加者アンケートで「パートナーと参加したい」という要望が寄せられたため、ペアで参加する「おいしいコーヒーと簡単スイーツ教室」(11月5日)を開催。 また男性料理教室(11月27日)や片付け講座(12月11日)も開催した。 いずれも、家事参画のきっかけづくりやプライベートの充実をはかることを目的とし、女性に比べ講座に出向く機会が少ないとされる男性に、気軽に参加してもらえるよう工夫した。			
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	14名(3回合計)			2点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)				

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	5点
-----------------------	----

チェック欄			
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	今年度は、参加対象を男性に限定した講座は男性料理教室のみで、他の2講座は対象を男女とした結果、男性の参加人数の累計は14名と例年より少なかった。男性の参加を増やすために、対象を男性に限定して、次年度は講座を実施していく。 また男性料理教室はコロナ禍での開催であったため、例年より申込人数が少なかった。
-------	---

5. 成果	男性料理教室の参加者アンケートでは、参加者の9割が「料理の基本を学ぶことができた」「家でも実践してみようと思った」と回答し、日常生活の中で料理をするきっかけとなったことが推察される。
-------	---

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	45
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女の均等な機会と待遇の確保		
実行項目	4-1-2	男女の均等な雇用の機会と待遇の確保		
事業名	男女雇用機会均等法の周知・啓発			
担当	地域経済課			
事業概要	・男女雇用機会均等法に関する周知を「未・来Jobまつやま」のセミナー等における参加者に対して行う。 ・市内企業に勤める方から均等法に係る相談があった場合、労働局内雇用均等室の紹介を行う。 ・労働局の均等法に係る啓発用チラシ等を、来訪者用に課内設置する。			
数値目標	セミナー参加社数150社(累計)			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	労働局の均等法に係る啓発用チラシ等を課内に設置した。 まつやま就活支援ナビを運営し、雇用に関する支援・施策情報を発信した。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	0社		0点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	4点
-----------------------	----

チェック欄			
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	令和3年度より就労支援を県市が連携して実施しており、今後も雇用関連の啓発や相談・案内を県市が連携して実施していく必要がある。
-------	--

5. 成果	啓発用チラシの設置やまつやま就活支援ナビにより、男女雇用機会均等法の周知・啓発を図ることができた。
-------	---

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	46
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女の均等な機会と待遇の確保		
実行項目	4-1-3	職場での男女共同参画の促進		
事業名	企業内人権教育担当者研修講座			
担当	人権啓発課			
事業概要	企業等には、公正公平な採用基準の徹底等をはじめ、企業活動を行う上で直面する人権に関わるさまざまな課題に対し、企業の社会的責任が求められていることから、市内の中小企業等の経営者又は従業員等を対象に年6回の研修を実施し、企業内における人権意識の高揚を図る。			
数値目標	セミナー参加社数150社(累計)			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	以下のとおり、人権啓発講座(6回)を実施した。 【第1回】人権課題の現状と企業の取組 【第2回】LGBTの人権 【第3回】同和問題解決のために 【第4回】個人情報の保護と人権(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止) 【第5回】総活躍社会における障がい者雇用(オンライン講座) 【第6回】職場のハラスメントの理解と防止 【追加講座】公正な採用選考について(オンライン講座)		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	セミナー参加社数61社	2点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	5点
-----------------------	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	対面方式の講座では新型コロナウイルス感染症の影響を受けやすい。受講人数が定員に達していない回もあった。
-------	---

5. 成果	前年度の講座受講アンケートをもとにテーマ設定し、新型コロナウイルス感染症拡大の影響から中止や講師の変更があったものの、オンライン講座を取り入れ、追加講座を実施するなどして目標としていた6回の講座を実施することができた。
-------	---

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	47
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女の均等な機会と待遇の確保		
実行項目	4-1-3	職場での男女共同参画の促進		
事業名	ワーク・ライフ・バランスの普及活動(企業・事業者・団体等)			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	企業が、子育て世代の仕事と育児の両立を支援するとともに、多様な人材の活用を進め、効率的で生産性の高い職場を実現できるよう、企業を対象とした講座やワークショップを行い、ワーク・ライフ・バランスの積極的推進について呼びかける。			
数値目標	企業等への講師派遣回数7回			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	事業所からの希望に応える形で講師を派遣する出張講座を行い、一般職に向けて「デジタルツールを活用した100人100通りの働き方」というテーマで1月20日に実施。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	企業等への講師派遣回数1回		1点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	5点
-----------------------	----

チェック欄			
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、出張講座の申し込みがコロナ前の3割程度に落ち込み、事業所からの申し込みは1団体であった。 次年度は、オンライン開催も可能であることを周知し、申し込みの回復をめざしたい。
-------	---

5. 成果	実施した1団体からは、満足の声をいただいている。
-------	--------------------------

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	48
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女の均等な機会と待遇の確保		
実行項目	4-1-3	職場での男女共同参画の促進		
事業名	「まどんな応援企業宣言」認証制度			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	ワーク・ライフ・バランスや女性の登用・職域拡大等、女性の活躍推進に積極的に取り組むことを宣言した企業に対し「まどんな応援企業宣言」認証を行い、取組へのサポートを行う。			
数値目標	認証企業数80社			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	認証企業のホームページやフェイスブック等で取り組み状況の紹介。 既に認証済みの企業からの紹介等により、申請しやすい環境づくりに努めた。 継続して認証を希望する場合は、特に手続きすることなく自動継続できるようにして、認証済み企業の負担にならないよう努めた。				
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	認証企業数85社			5点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)					

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	5点
-----------------------	----

チェック欄			
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	認証企業の方には、企業向けの講座、イベントに参加いただいているが、企業との連携、交流がより深まるよう、交流会等工夫をこらした事業を考える必要がある。
-------	---

5. 成果	「若者のライフデザイン支援事業」における交流会(パネルディスカッション方式)に派遣できる若手社員がいるかどうか、認証企業に事前アンケートを実施したところ、8社から派遣できるという回答があり、4社から1名ずつ派遣してもらった。 令和4年度の交流会では、令和3年度に登壇いただけなかった企業から若手社員を派遣してもらおうなど、認証企業との関係性が増すよう取り組んできた。
-------	--

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	49
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女の均等な機会と待遇の確保		
実行項目	4-1-3	職場での男女共同参画の促進		
事業名	まどんな応援企業の周知啓発			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	まどんな応援宣言企業の認知度を向上させ、市民への認知度を向上させるため、特に若い世代への啓発を積極的に行う。			
数値目標	若年層への周知回数 1回／年			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	ホームページやフェイスブック等で認証企業の取り組み状況の紹介するとともに、「若者のライフデザイン支援事業」において、愛媛大学理学部1回生(226名)に周知した。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	周知啓発1回		5点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	3点
-----------------------	----

チェック欄			
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	コムズ主催事業や情報誌において、より積極的にまどんな応援企業の周知啓発を行い、認知度の向上をめざしていく。
-------	---

5. 成果	認証企業85社をコムズホームページ等で紹介した。
-------	--------------------------

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	50
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女の均等な機会と待遇の確保		
実行項目	4-1-4	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の普及促進		
事業名	ワーク・ライフ・バランスの普及啓発(市民)			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	市民に対し、ワーク・ライフ・バランスに関する啓発活動を行い、必要性やメリット等について周知を行う。			
数値目標	参加人数100人			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	公開講座「笑って考えよう！ 家庭のこと 仕事のこと～男の家事が未来を変える～」(10月30日) 参加人数39人 「暮らしのスキルアップ講座」(全4回)(10月～12月)のべ参加人数72人		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	参加人数111人		5点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)		5点
-----------------------	--	----

チェック欄			
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」についての理解が進んでいる中、市民ニーズに応えることのできる講座企画をより一層進めていく必要がある。
-------	--

5. 成果	オンラインで開催したり定員を少なくして開催したりして、新型コロナウイルス感染拡大の影響下においても講座を実施し、女性、男性それぞれが、家事参画やプライベートの充実を図ることに寄与できた。
-------	---

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	51
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女の均等な機会と待遇の確保		
実行項目	4-1-4	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の普及促進		
事業名	メンターの育成			
担当	市民生活課			
事業概要	実施計画の事業を担当する課の若手職員で構成される「ワーキング・グループ」メンバー自らが実践者(ロールモデル)となり、また、将来の良き助言者・指導者(メンター)となれるよう男女共同参画に関する学習機会を提供する。			
数値目標	会議開催1回以上/年			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、庁内ワーキンググループ研修を実施することができなかった。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	0回		0点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	3点
-----------------------	----

チェック欄			
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	コロナ禍でも開催できる方や開催できない場合の代替案を検討していく必要がある。
-------	--

5. 成果	
-------	--

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	52(82)
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女の均等な機会と待遇の確保		
実行項目	4-1-4	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の普及促進		
事業名	若者のライフデザイン支援事業			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	若いうちに、固定的性別役割分担意識を払拭し、晩婚・晩産等の実情を知った上で、自分が思い描く進路選択を含めた人生設計を構築する支援を行う。			
数値目標	若年層への周知回数 1回／年			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	ジェンダー論を専門とし、自ら家事・育児に積極的に参画している東京大学大学院の瀬地山角教授を講師として招き、愛媛大学理学部1回生等(226名)を対象に基調講演を開催した。(新型コロナウイルスへの感染防止対策として、実施大学の学生のみを対象とした) また、女性の活躍促進や男性の育児休業取得等に積極的に取り組んでいる「コムズまどんな応援企業」の若手社員が登壇する交流会(質問会)を実施。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	周知回数 1回		5点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	5点
-----------------------	----

チェック欄			
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	市内にある4大学の学生を対象に開催する予定であったが、新型コロナウイルスの影響により、対象を実施大学の学生のみに変更した。 新型コロナウイルスの終息が見通せない中、大学側の意向もあるため、他大学の学生の参加が難しい状況にある。
-------	--

5. 成果	愛媛大学理学部1回生が対象であったため、男子学生が約140名と男性の参加が多かった。 家事育児を実践者であると同時に、ジェンダー論が専門の講師であったため、男性の家事参画の重要性やライフデザインについて考える機会となり、事後アンケートでは、「ライフデザインを考える参考になった」と回答した学生が9割にのぼった。
-------	--

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	53
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女の均等な機会と待遇の確保		
実行項目	4-1-5	女性の経営参画の促進		
事業名	家族経営協定の推進			
担当	農業委員会事務局			
事業概要	農業の担い手である女性の役割分担の認識を図るとともに、男女のお互いがパートナーであることを尊重しあうために、家庭内の役割を分担し、労働時間、家族行事等の協定（家族経営協定）の締結を推進する。			
数値目標	締結数（累計）30件			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	・家族経営協定締結件数 13件【累計締結数 259件】		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	13件	2点	※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	4点
-----------------------	----

チェック欄			
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	新型コロナウイルス感染症対策で人の集まりに制限がある中、農業者が農業に対して意欲や能力を発揮できる環境整備のひとつとして、広く周知していく方法等を検討していく。
-------	--

5. 成果	家族経営協定締結者数は昨年度比130%で、多くの農業者の支援を行えた。
-------	-------------------------------------

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	54
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女の均等な機会と待遇の確保		
実行項目	4-1-5	女性の経営参画の促進		
事業名	松山市農村生活研究グループ連絡協議会活動補助金			
担当	農水振興課(農業指導センター)			
事業概要	農村の女性が健康で充実した農業・農村生活の担い手となり、農業知識や技術の習得と消費者との交流などで情報交換に努め、地域農業・農村の維持・発展と地域活性化を図るため、「松山市農村生活研究グループ連絡協議会」へ補助金を交付する。			
数値目標	イベントでの活動紹介回数1回/年			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	松山市農村生活研究グループ連絡協議会では、地域農業の維持・発展のため、会員を対象に、野菜の基礎知識を学ぶ研修会などを3回実施した。また、地域の食文化の継承を図るため、料理人を目指す学生に郷土料理を実習するなどの交流会を2回実施したことにより、農村での女性の役割が認識された。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	5回	5点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	4点
-----------------------	----

チェック欄			
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考に企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	会員に高齢者が多いため、新型コロナウイルス感染症の影響のため、集会形式のイベント開催が困難であり、活動の縮小が余儀なくされている。 また、若手の会員を確保することが急務となっている。
-------	--

5. 成果	会員が野菜の基礎知識を習得し収穫物を家庭で食することで、農業への意欲を高めることができた。 学生には、郷土料理の実習を通じて、農村での女性の役割や料理の奥深さを伝えることができた。 また、消費者との交流会では、地域の特産物の収穫体験や収穫物を利用した料理を子育て世帯などに伝えることで、郷土料理を広めることができた。
-------	--

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	55
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女の均等な機会と待遇の確保		
実行項目	4-1-5	女性の経営参画の促進		
事業名	次世代農業者サポート事業			
担当	農水振興課			
事業概要	JA等による新規就農者の受入体制の整備から、就農準備研修、就農後の定着促進といった、幅広い取組に対し補助金を交付して支援することで、新規就農希望者が直面する農業への参入障壁を撤廃するとともに、本市の農業の持続的な発展に必要な次世代の農業者を育成する。			
数値目標	認定新規就農者の女性割合15%以上			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	JA等が新規就農者を受け入れるために4回実施した「就農相談会」の経費や就農候補者への技術研修費などに補助した。 就農相談会は19名からの相談があり、就農候補者研修には30名が参加し、機械等を導入した新規就農者12名に補助したことにより、女性を含めた次世代の農業者を育成することができた。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	17.5%	5点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	3点
-----------------------	----

チェック欄			
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	新規就農する女性の割合は男性に比べまだ低い状況であるため、就農を希望する女性に農業への参入障壁と感知することは何か聞き取りを行うことで現状を把握し、JA等の関係機関と連携しながら、女性の就農支援に取り組む必要がある。
-------	--

5. 成果	就農候補者研修の女性受講者はH29・30年度は2名、H31年度は3名、令和2・3年度は5名と増加傾向であり、認定新規就農者となった女性割合についても目標の15%以上を達成し、女性就農者の確保・支援ができた。
-------	---

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	56
重点目標	4-2	柔軟な働き方を可能にするための理解促進と条件の整備		
実行項目	4-2-1	職業能力の開発支援		
事業名	松山市人材育成事業補助金事業			
担当	地域経済課			
事業概要	市内の中小企業等が従事者のスキルアップを目的として研修等を受講する際に、その費用の一部を補助する。			
数値目標	研修等参加人数1,200人			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	市内の中小企業等が従事者のスキルアップを目的に研修等を受講する際に、受講料等の一部を補助した。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	461人		2点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	4点
-----------------------	----

チェック欄			
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	コロナ禍の中、人材育成のあり方も変わってきているため、時世にあった制度運用を心がける必要がある。
-------	--

5. 成果	新型コロナウイルス感染症の影響で中止になる研修等もあったが、研修開催者側の柔軟性でオンライン研修に切り替えて実施していただいたことで、例年並みの申請数を維持することができた。
-------	---

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	57
重点目標	4-2	柔軟な働き方を可能にするための理解促進と条件の整備		
実行項目	4-2-2	多様な就業ニーズへの対応		
事業名	女性の起業支援			
担当	地域経済課			
事業概要	松山しごと創造センターで、女性を対象とした起業の個別相談やセミナーを実施し、総合戦略に掲げる基本目標「魅力ある仕事と職場をつくる」の数値目標でもある事業所の増加や雇用の促進に繋げる。			
数値目標	創業者数(実数)39人			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	専門家による個別相談や創業に関するセミナーを開催し、創業者向けの支援を行った。女性の事業者同士が交流できるイベントを開催し、女性の起業において機会創出を行った。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	37人	4点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	4点
-----------------------	----

チェック欄			
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	今後も個別相談や創業者向けのセミナー開催を通じて創業支援を実施したい。
-------	-------------------------------------

5. 成果	専門家による個別相談や創業に関するセミナーを開催するなど、創業者向けの支援を行い、創業者の創出に寄与した。
-------	---

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	58
重点目標	4-2	柔軟な働き方を可能にするための理解促進と条件の整備		
実行項目	4-2-2	多様な就業ニーズへの対応		
事業名	松山市テレワーク在宅就労の促進			
担当	地域経済課			
事業概要	テレワークによる在宅就労者として障害者などの就労困難者を雇用した松山市内の事業所に「就労奨励金」を交付するとともに、その指定事業所にテレワークによる在宅業務を発注した全国の事業所に対し「発注奨励金」を交付し、就労機会の創出及びテレワーク市場の拡大を促進する。 ※テレワークとは、ICT(情報通信技術)を活用した、場所や時間にとられない柔軟な働き方を言う。			
数値目標	市内テレワーカー数750人			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	テレワークによる在宅就労者としてひとり親家庭の親や障がい者などの就労困難者を雇用した松山市内の事業所に「就労奨励金」を交付するとともに、その指定事業所にテレワークによる在宅業務を発注した全国の事業所に対し「発注奨励金」を交付し、就労機会の創出及びテレワーク市場の拡大を促進した。				
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	853人			5点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)					

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	3点
-----------------------	----

チェック欄			
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	コロナ禍によって、テレワークへの関心が高まる中、さらなる多様な人材の活用や働き方が求められている。
-------	--

5. 成果	本事業の実施により、これまでに250名以上の雇用創出や市外企業からの市内指定事業所に発注した金額が4.1億円を超えており、外貨獲得につながっている。 本事業テレワーク推進のための自治体独自の取り組みを進めている事例として厚生労働省や総務省(四国総合通信局)にも取り上げられるなど、全国的にも珍しい本市独自の取り組み。
-------	--

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	59
重点目標	4-2	柔軟な働き方を可能にするための理解促進と条件の整備		
実行項目	4-2-2	多様な就業ニーズへの対応		
事業名	女性の再就職支援			
担当	地域経済課			
事業概要	結婚や出産、育児などで離職し、再就職に対して様々な不安を抱えている女性の労働参加及び掘り起こしに向けて、求職者と企業の両面から女性の活躍促進に取り組む。			
数値目標	就職者60名（累計）			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の 取組内容	令和3年度より就労支援を県市が連携して実施しており、県の就労支援施設であるジョブカフェ愛workで個別相談やセミナーを実施するなど女性の就職支援を行った。また、子育てママのお仕事相談として、市内の5児童館・センターに就労支援員を派遣し、女性の就労相談に対応した。			
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	128人(累計)			5点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)				

3. 男女共同参画への配慮度（0～5点）	5点
----------------------	----

チェック欄			
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	今後も再就職に対して様々な不安を抱えている女性の再就職支援を県市が連携して実施していく必要がある。
-------	---

5. 成果	県市が連携して就労支援に取り組み、ジョブカフェ愛workで支援した103名の女性の就職が決定した。また、子育てママのお仕事相談で再就職に対して不安を抱えている女性の相談に対応し、不安を軽減することができた。
-------	---

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	60
重点目標	4-2	柔軟な働き方を可能にするための理解促進と条件の整備		
実行項目	4-2-2	多様な就業ニーズへの対応		
事業名	高齢者雇用対策事業			
担当	地域経済課			
事業概要	働く意欲と能力のある高齢者が働き続けられるよう支援するとともに、中小企業の人材確保を支援していくため、松山シルバー人材センターで高齢者就労の総合相談支援を行う。			
数値目標	相談者のうち常用雇用への就労に繋がった人数135人(累計)			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	高齢者に対する「高年齢者就労総合相談窓口」を開設し、働く意欲と能力のある高齢者がその能力を発揮して働き続けられるよう、従来の臨時かつ短期の就業だけでなく、常用雇用も含めた求人開拓から相談、求職者と事業者のニーズに応じたマッチング支援に至るまでの効果的な相談支援を行った。				
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	52人(累計)			2点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)					

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	4点
-----------------------	----

チェック欄			
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考に企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	求職者支援においては、新型コロナウイルス感染症の影響により働き方が多様化しており、高年齢求職者の就労支援の難しさが増してきている。多様な働き方、仕事を提案し、マッチングの拡大を図ることが必要である。 求人開拓においては、求職者のニーズや社会情勢を踏まえて、より幅広い業種へアプローチし、求人を開拓する必要がある。
-------	---

5. 成果	求職者支援においては、求職者の適性や希望に応じた就業を支援した。マッチングの可能性のある求職者については、求人事業所と連携して、速やかに雇用に結びつけた。また、総合的就労相談窓口として、個々のニーズ、適性、能力に応じた就労機会の確保に努め、幅広い就労支援を行った。 求人開拓においては、ハローワーク等での情報収集、求人獲得の可能性のある事業所の洗い出し、シルバー派遣事業との情報共有により、一定の求人を確保することができた。
-------	---

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	61
重点目標	4-3	高齢者等が安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	4-3-1	高齢者、障がい者(児)、外国人等への支援充実		
事業名	「松山市高齢者福祉計画」の進捗管理			
担当	高齢福祉課			
事業概要	誰もが安心して暮らせる環境の整備を行うため、老人福祉法及び介護保険法に基づき、令和3年度から令和5年度までの3年間を一期とした高齢者福祉事業や介護保険事業の円滑な実施に関する事業計画である「松山市高齢者福祉計画」の進捗管理を行う。			
数値目標	計画に基づく福祉施設建設(広域型特別養護老人ホーム等6施設)の工期内完成			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	誰もが安心して暮らせる環境の整備を行うため、老人福祉法及び介護保険法に基づき、令和2年度に策定した「松山市高齢者福祉計画」に基づき、福祉施設の整備を行う事業者を公募し、選定を行った。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	計画している4施設中、3施設が決定		3点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)		5点
-----------------------	--	----

チェック欄			
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	社会福祉施設整備審査会の委員は、10人中、女性が7人と女性登用率が高く課題は無いが、「松山市高齢者福祉計画」で計画している4施設のうち、1施設の整備事業者が決定しなかったため、令和4年度に再度、公募し、決定する必要がある。
-------	---

5. 成果	「松山市高齢者福祉計画」で計画している4施設のうち、3施設は整備事業者が決定したため、今年度から整備ができる。
-------	---

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	62
重点目標	4-3	高齢者等が安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	4-3-1	高齢者、障がい者(児)、外国人等への支援充実		
事業名	「松山市障害福祉計画」の進捗管理			
担当	障がい福祉課			
事業概要	障がい者の自立と社会参加のため、障害福祉サービスの提供体制の確保等に関する計画である「松山市障害福祉計画」の進捗管理を行う。			
数値目標	福祉施設入所者の地域生活移行18人(令和3年～5年度の目標数値) 福祉施設利用者の一般就労移行80人			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	令和3年3月に、松山市第6期障がい福祉計画・松山市第2期障がい児福祉計画を策定した。同計画では、松山市第5期障害福祉計画で設定した目標(41人が地域生活に移行する)と実績(8人)の乖離が大きいことと、施設入所者の平均年齢が上昇傾向にあり、地域移行の難易度が高まっていることから、目標値を見直し、令和3年度から令和5年度までの3年間で、令和元年度末の施設入所者数(452人)の4.0%に当たる18人以上が、地域生活へ移行することを目指すこととした。この目標の達成に向け、令和3年度は松山市障がい者総合支援協議会の「地域移行小部会」等の枠組みで、関係機関と課題を共有し、意見交換を行った。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	福祉施設入所者の地域生活移行4人 福祉施設利用者の一般就労移行99人	3点 5点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	3点
-----------------------	----

チェック欄			
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	施設入所者の高齢化、就労先の受け皿の不足など、単年度の取組では解決が難しい課題がある。
-------	---

5. 成果	令和3年度は松山市障がい者総合支援協議会の「地域移行小部会」等の枠組みで、関係機関との協議し、課題を共有できた。
-------	--

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	63(28)
重点目標	4-3	高齢者等が安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	4-3-1	高齢者、障がい者(児)、外国人等への支援充実		
事業名	国際性豊かな人づくり【再掲】			
担当	観光・国際交流課(公益財団法人松山国際交流協会)			
事業概要	松山市から運営補助金を交付している公益財団法人松山国際交流協会が、中学生海外派遣など、青少年を対象とした国際交流・国際理解事業を実施することで、国籍や性別などに対する心の壁をつくることなく、多様な価値観を受け入れることができる人材を育成する。 ※(公財)松山国際交流協会では、毎年夏休みに中学生を3つの姉妹友好都市に派遣する「まつやま中学生海外派遣事業」を実施している。その応募資格となる、国際交流事業への参加を促す「中学生チャレンジプロジェクト」を実施しており、派遣前に松山で国際交流事業に参加し、その意義や楽しさを体感してもらうことで、「身近な国際体験⇒海外での実践⇒帰国後の貢献」の仕組みづくりに取り組んでいる。			
数値目標	中学生チャレンジプロジェクト参加人数100人			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	新型コロナウイルスの感染拡大により、令和3年度の中学生チャレンジプロジェクトは休止したが、新型コロナウイルス感染防止対策を講じてジュニア国際交流サロンなどを実施し、青少年の国際理解に努めた。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)			点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)		点
-----------------------	--	---

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	新型コロナウイルスの感染拡大により、従来通りの海外との往来や、数多くの人が集まるイベントの実施は困難であるが、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底のうえ、国際交流・国際理解事業を実施し、多様な価値観を受入れることができる人材を育成する。
-------	--

5. 成果	新型コロナウイルスの感染拡大により、令和3年度の中学生チャレンジプロジェクトは休止したが、新型コロナウイルス感染防止対策を講じてジュニア国際交流サロンなどを実施し、青少年の国際理解に努めた。
-------	---

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	64
重点目標	4-3	高齢者等が安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	4-3-2	貧困など生活上の困難に直面する男女への支援		
事業名	市民からの各種相談への対応			
担当	市民生活課			
事業概要	弁護士やファイナンシャルプランナーによる、多重債務相談を実施し、多重債務者の生活再建を支援する（ファイナンシャルプランナー相談は第1・3火曜日、弁護士相談は第1～4水曜日に実施）。			
数値目標	相談件数50件			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	多重債務相談や生活再建に向けた家計管理についての相談を、専門の弁護士やファイナンシャルプランナーを招聘し、実施。(令和3年度 弁護士相談14件、ファイナンシャルプランナー1件)。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	30%～49%(2点)		2点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度（0～5点）	4点
----------------------	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	相談件数が減少しているのは、多重債務等で生活上の困難に直面する市民が少なくなったためと考えるが、今後も継続して周知に努める。
-------	--

5. 成果	市民からの各種相談に対応することができた。
-------	-----------------------

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	65
重点目標	4-3	高齢者等が安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	4-3-2	貧困など生活上の困難に直面する男女への支援		
事業名	若者の正社員化及び就労訓練			
担当	地域経済課			
事業概要	雇用情勢は改善しているが、若年者を取り巻く雇用環境は依然として厳しく、非正規雇用のままで年齢を重ね、本来正社員として習得すべきキャリアが形成されていない若者が増えてきていることから、公共職業訓練校の受講生に対し、日額(交付要綱で定める)に通学日数を乗じた金額を職業訓練奨励金として支給し、経済的支援を行う。また、その認定を受けた訓練生を正規雇用した事業所を対象に雇用の奨励金を支給する。			
数値目標	訓練奨励金認定者の正規雇用者数43人(累計)			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	新型コロナウイルス感染症の影響により、非正規雇用の失業が懸念されることから、その中でも再就職の間口が狭い氷河期世代を支援するため、職業訓練奨励金の年齢要件を40歳未満から45歳未満に拡充して支援した。			
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	24人(累計)			3点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)				

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	4点
-----------------------	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの 主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画 し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松 山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で 共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り 入れた	

4. 課題	新型コロナウイルス感染症の拡大によるハローワークへの出控えなどで職業訓練生が減少しており、実績 が伸びなかった。
-------	---

5. 成果	年齢要件の拡充により、氷河期世代を含む訓練生の再就職支援に繋がった。また、正規雇用奨励金につ いては、例年並みの認定社数であったことから、訓練修了生の正規雇用につながる支援が行えていると考 える。
-------	--

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	66
重点目標	4-3	高齢者等が安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	4-3-3	子育てや介護等の支援		
事業名	ひとり親家庭等自立促進計画の策定と進捗管理			
担当	子育て支援課			
事業概要	ひとり親家庭や寡婦が様々な活動に積極的に参加でき、ともに支えあい、自ら安定した生活を営み、子どもたちが健やかに成長できるよう、各種支援策をまとめた総合的な計画である「ひとり親家庭等自立促進計画」の進捗管理を行う。			
数値目標	—			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	担当課に進捗状況を確認し、松山市社会福祉審議会児童福祉専門分科会に評価をしてもらい、評価結果を松山市ホームページで公表した。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	—		一点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度（0～5点）	5点
----------------------	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	ひとり親家庭を取り巻く環境の変化や、本市を取り巻く現状をふまえ、進捗管理を行っていく必要がある。
-------	--

5. 成果	「第2期松山市ひとり親家庭等自立促進計画」令和2年度実施状況の評価を行ったことで、各種事業の改善点が明らかになり、「第3期松山市ひとり親家庭等自立促進計画」令和3年度の事業実施につながった。
-------	---

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	67
重点目標	4-3	高齢者等が安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	4-3-3	子育てや介護等の支援		
事業名	待機児童ゼロに向けた取り組みと「松山市子ども・子育て支援事業計画」の進捗管理			
担当	保育・幼稚園課、子育て支援課			
事業概要	既存の幼稚園からの認定こども園への移行や、基準を満たした上で、待機児童の多くを占める1,2歳児の受入れを強化する「待機児童対策・保育の質向上事業」及び、保育・幼稚園相談窓口で利用者支援を行うことなどにより、多様な保育サービスを提供し待機児童の解消に取り組む。 また、これらを含めた「松山市子ども・子育て支援事業計画」の点検・評価を行うことで進捗管理を行う。			
数値目標	保育所等利用待機児童数0			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	子ども・子育て会議委員による「子ども・子育て支援事業計画」の点検・評価を行った。 「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、令和3年4月1日時点で前年と比べて205名分増の、市内合計8,358人分の保育定員を確保した。また、平成30年度から導入した、基準を満たした上で、待機児童の多くを占める1, 2歳児を定員以上受け入れた際の助成制度や、年度途中で育児休業から復帰する方を対象とした入園予約制度の実施などにより待機児童解消に向けソフト面の充実を図った。				
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	0人			5点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)					

3. 男女共同参画への配慮度（0～5点）	5点
----------------------	----

チェック欄			
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考に企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	社会経済環境の変化や、本市を取り巻く現状をふまえ、進捗管理を行っていく必要がある。 全国的に保育の担い手である保育士の確保が厳しくなっていることから、継続就労のため新任保育士向けの職場定着研修を実施するなどの取組を行っている。また、令和4年度からは、保育士の負担軽減のための保育所等のICT化に対する補助や保育士の魅力発信イベントなどを実施することで、保育士の確保を目指す。
-------	---

5. 成果	「第2期子ども・子育て支援事業計画」の点検・評価を行ったことで、各種事業の改善点が明らかになった。 また、年度途中で育休復帰する場合、保育の優先度が高いにも関わらず、入所できない場合が多く、やむを得ず育休取得期間を短縮し、最も入所しやすい4月に入所申込を行うケースがあったが、入所予約制度の導入によって、安心して育休を取得していただくことにつながっている。
-------	--

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	68
重点目標	4-3	高齢者等が安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	4-3-3	子育てや介護等の支援		
事業名	子育て援助活動支援事業【ファミリー・サポート・センター事業(育児)】			
担当	男女共同参画推進センター・子育て支援課			
事業概要	子育て援助活動支援事業は、子育てについて、援助を受けたい人(依頼会員)と行いたい人(提供会員)を会員として組織化し、相互援助を行う事業。提供会員の援助活動(保護者にかわり保育園の送り迎え等を行う等)が円滑に行われるように調整する。			
数値目標	活動件数7,776件			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の 取組内容	制度普及を図るため、会員募集広告にて事業周知を行い新規会員の増加に努めた。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	活動件数4,305件	3点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	5点
-----------------------	----

チェック欄			
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	退会した提供会員が多く、新規加入会員数を上回っている。 核家族の増加や地域とのつながりの希薄化などを背景に、育児不安を抱えながら地域から孤立した子育て家庭が増えており、こうした育児不安の解消に、地域が持つ子どもを育てる力に大きな期待が寄せられており、今後さらに会員数の増加を図る必要がある。 新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、利用件数が目標値を下回っている。
-------	--

5. 成果	令和3年度は依頼会員が19人の増であったのに対し、提供会員が42人の減であった。これは新型コロナウイルス感染症の影響により、提供会員が更新をしなかったことが要因であると考えられる。そのような中でも、コーディネーターにより適切なサービスの提供を行うことができた。
-------	--

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	69
重点目標	4-3	高齢者等が安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	4-3-3	子育てや介護等の支援		
事業名	子育てに関する情報の発信			
担当	子育て支援課			
事業概要	子育てに関する情報(保育園や幼稚園、認定こども園等の情報等)を収集し、子育て情報サイトや冊子で情報発信する。			
数値目標	累計アクセス数219,249件			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	就業前の子どもがいる家庭を対象にした冊子「まつやま子育て応援ブック まつトコ2021」(発行元はNPO法人子育てネットワークえひめ)を9月に9千部発行した。また、赤ちゃんセットへの同封、支所、児童館等で配布を行った。 子育て情報サイト「カンガ(エ)ルーカフェ」の運営管理を継続し、子育てに関する情報を掲載した。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	累計アクセス数 128,930件	3点	※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	3点
-----------------------	----

チェック欄			
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	子育て情報サイト「カンガ(エ)ルーカフェ」について、累計アクセス数が目標の数値を達成できなかった。今後も子育て情報サイト「カンガ(エ)ルーカフェ」を周知していく必要がある。
-------	--

5. 成果	まつトコの発行により子育て家庭に子育てに役立つ情報を発信できた。 子育て情報サイト「カンガ(エ)ルーカフェ」について、累計アクセス数(ページビュー数)が128,930件であった。
-------	--

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	70
重点目標	4-3	高齢者等が安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	4-3-3	子育てや介護等の支援		
事業名	子育て家庭の送迎等支援			
担当	子育て支援課			
事業概要	子育て家庭が、子どもの送迎や預かりに利用できるサービス(ファミリー・サポート、イクじい・ばあばママサービス)に利用者補助を行うとともに、サービスの周知を図る。			
数値目標	助成件数7,930件/年			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	子育て家庭がサービスを利用しやすいように、利用補助を行った。ファミリー・サポート・センター(育児)については、1か月当たり利用時間の2時間30分までを無料とし、イクじい・ばあばママサービスについては、1か月当たり利用時間の5時間までを半額とした。各々の事業実施主体である(公財)男女共同参画推進財団・(公社)松山市シルバー人材センターに補助金を支払い、利用者補助を行った。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	助成件数4,362件/年	3点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	3点
-----------------------	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	子どもの送迎や預かり等の依頼に応えられる提供会員を増やす必要がある。
-------	------------------------------------

5. 成果	令和3年度の助成件数は4,362件で、子育て家庭が子どもの送迎や預かりサービスを利用する際の金銭的負担軽減に貢献した。
-------	---

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	71
重点目標	4-3	高齢者等が安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	4-3-3	子育てや介護等の支援		
事業名	ファミリー・サポート・センター（介護）			
担当	高齢福祉課			
事業概要	ファミリー・サポート（介護）は、介護について、援助を受けたい人（依頼会員）と行いたい人（提供会員）を会員として組織化し、相互援助を行う事業。提供会員の援助活動（食事の準備や後片づけ、部屋の掃除や衣類の洗濯、留守見守りや話し相手）が円滑に行われるように調整する。			
数値目標	活動件数6,700件			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	制度普及を図るため、会員募集広告及び提供会員募集の説明会を実施し、事業周知を行い新規会員の増加に努めた。		
2. 数値目標に対する実績と達成度（0～5点）	活動件数3,913件		3点
※達成度 0%（0点） ～29%（1点） 30%～49%（2点） 50%～79%（3点） 80%～99%（4点） 100%以上（5点）			

3. 男女共同参画への配慮度（0～5点）	5点
----------------------	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、会員数が減少しており、今後、ますます進む高齢社会において介護支援が円滑に行われるように、会員数の増加を図る必要がある
-------	--

5. 成果	コロナ禍にあつて会員数が減少する中、適切なコーディネートに努め、利用件数が前年度から約200件増加している。
-------	--

主要課題	4	仕事と生活の調和～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	72
重点目標	4-3	高齢者等が安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	4-3-3	子育てや介護等の支援		
事業名	介護予防と認知症サポーターの養成			
担当	介護保険課			
事業概要	介護予防を推進する活動に取り組む住民主体のグループを支援するとともに、認知症高齢者やその家族を優しく見守る支援者を養成する。			
数値目標	ふれあいいきいきサロン参加者120,000人 認知症サポーター養成講座受講者数5,000人			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	介護予防を推進する活動に取り組む住民主体のグループへの支援として、ふれあい・いきいきサロンへの支援を行い、延べ34,367人(うち男性3,677人、女性30,690人)が参加した。 認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を見守る応援者である「認知症サポーター」を養成する取組として、認知症サポーター養成講座を開催し、2,423人(男性1,063人、女性1,360人)が受講した。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	サロン34,367人、認知症サポーター2,423人	1点、2点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	4点
-----------------------	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、ふれあい・いきいきサロンや認知症サポーター養成講座の開催数が減少し、サロン活動者数や認知症サポーター養成講座の受講人数が減少傾向となっていることが課題である。 また、ふれあい・いきいきサロンの参加者は女性が多くなっているが、男性の参加も増えるよう、引き続き活動を支援する。
-------	---

5. 成果	新型コロナウイルス感染症の影響で思うように集まらない時期もあったが、ふれあい・いきいきサロンでは、脳トレーニングのプリントなどの介護予防資料を歩いて取りに行く「てくてくデイ」や従来のサロンよりも活動時間を短くした「ミニサロン」を導入するなど、感染予防に配慮しながら活動することができた。
-------	---

主要課題	5	地域防災分野での男女共同参画～災害時こそ互いを配慮します～	通番	73
重点目標	5-1	男女共同参画の視点を取り入れた地域防災力の充実強化		
実行項目	5-1-1	避難所運営や仮設住宅での男女共同参画		
事業名	対策本部運営事業			
担当	防災・危機管理課			
事業概要	災害発生時に災害対策本部、災害警戒本部の設置及び運営を円滑に実施し、被害情報の共有や被害対応の迅速化並びに気象情報等の収集、伝達を行い、市民の生命、身体および財産を保護し、被災者等の市民生活の早期安定を図るもの。対策本部運営のため、各担当職員への研修を行う。			
数値目標	避難所担当職員研修1回以上/年			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	新型コロナウイルス感染症に配慮し、1回あたりの研修の参加者数を制限し、例年より多くの研修会を開催した。避難所担当職員の立場で男女それぞれの視点から、避難者に寄り添った避難所運営ができるよう研修を行っている。また、研修に加えて、避難所担当職員を対象とした避難所開設運営訓練を実施し、女性配慮スペースの設営など、避難所開設時に必要な技術の習得を行った。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	研修1回/年(延16回) + 訓練1回 / 年		5点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	4点
-----------------------	----

チェック欄			
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	新型コロナウイルス感染症に配慮し、1回あたりの参加者数を制限しているため、例年より多くの研修会を開催する必要があり、会場の確保や日程調整に時間を要した。また、避難所開設時に、より感染症に配慮した対策を求められることから避難所担当職員の負担が増加している。
-------	---

5. 成果	避難所担当職員全員に研修を行うことにより、避難所担当職員の立場で男女それぞれの視点から、避難者に寄り添った避難所運営ができるよう意識づけをすることができている。また、避難所開設訓練を実施することで、避難所運営の具体的なイメージを共有することができ、避難所開設時に円滑な避難所運営を行うことができている。
-------	---

主要課題	5	地域防災分野での男女共同参画～災害時こそ互いを配慮します～	通番	74
重点目標	5-1	男女共同参画の視点を取り入れた地域防災力の充実強化		
実行項目	5-1-2	自主防災組織や防災士などへの支援		
事業名	自主防災組織育成事業			
担当	防災・危機管理課			
事業概要	自主防災組織の育成や充実・強化及び防災士のスキルアップを図るため、防災研修や講演会、シンポジウムなどを開催するほか、必要なテーマに関する調査・研究を行う。 また、事業を通じて、男女共同参画はもとより、世代・業種・障がい等の多角的な視点を基本とする。			
数値目標	41地区			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	新型コロナウイルスの影響下でも、感染症対策の徹底やオンラインの活用等により、特定非営利活動法人イコールネット仙台の宗片 恵美子常務理事を招いて防災シンポジウムを開催することができた。 また、女性防災士を対象にオンライン研修会を開催したり、そなえる補助金モデル事業選考委員会では選考委員として女性に参画していただいた。			
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	公費女性防災士の配置地区:36地区			4点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)				

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	4点
-----------------------	----

チェック欄			
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	新型コロナウイルスの影響で、中止とした研修や講演会もあったため、継続して自主防災組織の育成や充実・強化及び防災士のスキルアップが促進できるよう様々な工夫を行う必要がある。 また、女性防災士未配置の地区に対しては、引き続き女性の資格取得を進めていく。
-------	--

5. 成果	防災シンポジウムでは、東日本大震災から10年を振り返り、女性視点で取り組む防災・復興についてご講演いただき、自主防災組織や防災士の皆さんに学びの機会を提供できた。 また、女性防災士を対象としたオンライン研修会では、コロナ禍での防災活動の苦労や工夫、女性目線の地域防災に関するアイデアなどを共有できた。
-------	--

主要課題	5	地域防災分野での男女共同参画～災害時こそ互いを配慮します～	通番	75
重点目標	5-1	男女共同参画の視点を取り入れた地域防災力の充実強化		
実行項目	5-1-2	自主防災組織や防災士などへの支援		
事業名	松山のひととまちを守る！防災士養成事業			
担当	防災・危機管理課			
事業概要	公費負担により、自主防災組織、小中学校、幼保育園、福祉避難所及び災害協定締結事業所への防災士配置を進め、総合的な地域防災力の強化につなげる。また、女性の防災への参画の重要性から、女性防災士の養成に取り組む。			
数値目標	女性防災士の割合（公費負担）：20%			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	愛媛大学と連携して防災士養成講座を実施し、広く防災士資格が取得できる機会を創出した。また公費負担での防災士養成も行い、これまでの自主防災組織、小中学校、幼保育園、福祉避難所及び災害協定締結事業所に加え、高校生の防災士養成も実施した。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	女性防災士の割合(公費負担):18.6%		4点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	3点
-----------------------	----

チェック欄			
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	女性防災士の割合は年々高くなっているが、決して高い水準とはいえない。災害時には様々な視点からの支援が必要になるため、引き続き女性防災士の養成を進めていく。
-------	---

5. 成果	新型コロナウイルスの影響下でも工夫して防災士養成講座を実施し、様々な世代や職域に防災リーダーを育成することができた。 公費負担での防災士資格取得者の累計は3,172人で、内女性防災士は589名となった。
-------	--

主要課題	5	地域防災分野での男女共同参画～災害時こそ互いを配慮します～	通番	76(38)
重点目標	5-1	男女共同参画の視点を取り入れた地域防災力の充実強化		
実行項目	5-1-2	自主防災組織や防災士などへの支援		
事業名	地域等の場で活躍できる各種人材の育成(女性防火クラブ)【再掲】			
担当	地域消防推進課			
事業概要	各地区で女性防火クラブが主体となって実施する地区研修会や防災かみしばい等の防火・防災に関する啓発活動を通じて、女性の視点を活かし、知恵と工夫を凝らした取り組みを展開し、女性の人材育成を図る。			
数値目標	実施地区37地区			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	令和3年度中に松山市内39地区で地区研修会を実施した。DVD視聴や防災講話の聴講を通じて防災意識を高めた。そのほか、女性ならではの視点を活かし、避難所運営訓練や応急救護訓練などに参加して訓練を効果的なものとした。さらに、各地区の保育園や幼稚園などに出向き、紙芝居を使用して防災教育を行うなど、啓発活動を実施した。				
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	実施地区39地区				5点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)					

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	3点
-----------------------	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	新型コロナウイルス感染症の影響で、規模を縮小しての活動が目立った。また、自主防災組織等との合同訓練や保育園・幼稚園への訪問を見合わせるなど、全体的に活動がしづらい状況であった。このような状況でいかに啓発活動をしていくかが課題である。
-------	--

5. 成果	各地区にある女性防火クラブのクラブ員が地区内で地域に根差した活動をしており、保育園・幼稚園の園児から親しみを持って受け入れられている。紙芝居などのツールを使用することで、楽しみながら防災教育を実施できた。また、各地区での研修は毎年継続して実施されており、クラブ員の防災意識を高めることができた。
-------	---

主要課題	5	地域防災分野での男女共同参画～災害時こそ互いを配慮します～	通番	77
重点目標	5-2	男女共同参画の視点を取り入れた防災・減災体制の確立		
実行項目	5-2-1	防災知識の普及		
事業名	松山市地域防災計画の進捗管理			
担当	防災・危機管理課			
事業概要	災害対策基本法などの防災関係法令をはじめ、国の防災基本計画、被害想定および県の地域防災計画等をもとに、本市の地域防災計画を適宜見直し、防災・減災対策の更なる推進を図る。			
数値目標	地域防災計画の見直し回数1回／年（必要に応じて）			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	本市の防災対策の基本計画となる松山市地域防災計画について、災害対策基本法及び災害救助法の改正や、避難所での新型コロナウイルス感染症を含む感染症対策の更なる強化が必要であること、また、国の防災基本計画及び愛媛県地域防災計画が修正されていること等から、それらとの整合性を図るため修正を行った。				
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	見直し実施				5点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)					

3. 男女共同参画への配慮度（0～5点）	4点
----------------------	----

チェック欄			
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	災害発生時にガイドラインに基づく取り組み状況を検証し、今後の地域防災計画を修正しなければならない。
-------	---

5. 成果	地域防災計画に、新型コロナウイルス等の感染症対策を踏まえた修正を行い、また、法律の改正や防災基本計画及び愛媛県地域防災計画の修正されている内容を反映させることで、防災力を向上させることができた。
-------	---

主要課題	5	地域防災分野での男女共同参画～災害時こそ互いを配慮します～	通番	78
重点目標	5-2	男女共同参画の視点を取り入れた防災・減災体制の確立		
実行項目	5-2-1	防災知識の普及		
事業名	啓発推進事業			
担当	防災・危機管理課			
事業概要	市内の小中学生から防災に関するポスターを募集し、優秀作品を表彰するとともに、各施設にて展示する。防災・減災を市民、地域、行政が共に考える日にするためにイベントを開催する。			
数値目標	防災イベントアンケート回答者200人			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	新型コロナウイルス感染予防のため、不特定多数の来場者を見込むイベントの開催はできなかったが、防災ポスターの募集、表彰、及び展示は予定通り実施し、市民に広く防災啓発を行うことができた。				
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	実施なし			0点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)					

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	4点
-----------------------	----

チェック欄			
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	新型コロナウイルス感染症の影響で、アンケートを実施予定だったイベントが実施できなかった。次回イベント等を実施する際には性別や年齢に捉われず、幅広い世代の方に来ていただけるような内容になるよう配慮する。
-------	--

5. 成果	防災ポスターを市役所だけでなく、多くの団体に協力いただいて掲示したことで、広く防災啓発につなげることができた。また、作品の応募数も昨年度を上回っており、多くの小中学生に災害に関心を持ってもらうきっかけを作ることができた。
-------	--

主要課題	5	地域防災分野での男女共同参画～災害時こそ互いを配慮します～	通番	79
重点目標	5-2	男女共同参画の視点を取り入れた防災・減災体制の確立		
実行項目	5-2-1	防災知識の普及		
事業名	みんなの消防フェスタ開催事業			
担当	地域消防推進課			
事業概要	多くの市民に防火・防災について関心を高めてもらうとともに、自主防災組織や女性防火クラブをはじめとする各種団体の横の連携を深めることを目的に、「みんなの消防フェスタ」を開催し、防火・防災啓発を行う。			
数値目標	開催につき1万人の参加者			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止を図るため、規模を縮小してみんなの消防フェスタを開催し、防災シンポジウムや体験型イベントを実施した。女性防火クラブ連合会が飲食物販売を通じて防火啓発を行ったり、防災シンポジウムで講師から女性目線での防災や災害復興に取り組んできた様子について講話を受けた。				
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	参加者3,000人			2点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)					

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	4点
-----------------------	----

チェック欄			
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	防災シンポジウムに参加した女性の割合は18.2%と、割合が低かった。今後、女性や小学生から高齢者まで切れ目なく、幅広い世代の方々に参加していただける方策を検討する。
-------	--

5. 成果	女性目線での防災や災害復興に取り組んできた様子についての講話について、アンケートでは「とても良かった59.0%、まあまあ良かった20.3%」(合計79.3%)との評価であり、防災意識の高揚に寄与した。
-------	--

主要課題	5	地域防災分野での男女共同参画～災害時こそ互いを配慮します～	通番	80
重点目標	5-2	男女共同参画の視点を取り入れた防災・減災体制の確立		
実行項目	5-2-2	災害用物資の支援		
事業名	災害用物資資機材整備事業			
担当	防災・危機管理課			
事業概要	地震等の大規模災害発生時に被災者に対して食料や飲料水、日用品、毛布等の物資を速やかに供給するため、必要物資の備蓄配備を行うとともに、衛生面に配慮し、ウェットティッシュや手指消毒剤なども配備する。また、地域の主要な避難所で使用する発電機、折り畳み式リヤカー、投光器、簡易トイレなどの資機材を、高校・大学へ計画的に配備するとともに、風水害等の水防資器材の整備により被害の軽減を図る。			
数値目標	高校・大学等への資機材配備率100%			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	平成28年度から5ヶ年計画に基づき、様々な資機材を計画的に29箇所の学校施設に配備してきた。その結果、令和2年度中に資機材配備率100%を達成することができ、目標を達成することができた。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	29箇所		5点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	4点
-----------------------	----

チェック欄			
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	食料や飲料水には賞味期限があるため、定期的に購入及び搬入作業が必要となる。そのため、コストや作業効率を検討する必要がある。
-------	---

5. 成果	大規模災害発生時に地域の主要な29カ所の避難所で使用する発電機、折り畳み式リヤカー、投光器、簡易トイレなどの資機材を100%配備することができた。 今後は、それら資機材を有効活用することで、減災に期待が持てる。
-------	--

主要課題	6	教育分野での男女共同参画～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	81
重点目標	6-1	男女平等を推進する教育・学習の充実		
実行項目	6-1-1	学校教育での男女平等の推進		
事業名	学校等との連携による男女共同参画の意識啓発			
担当	人権啓発課			
事業概要	市内の小・中学校に対して、運営委員会の設置、基礎研修、学級・学年別懇談会の開催を依頼し、教職員及び保護者が人権教育の重要性を認識するとともに主体性を持って事業に取り組むよう意識を啓発することにより、人権感覚豊かな人材の育成に努める(校区別人権教育懇談会)			
数値目標	参加者数114,000人(累計)			

【令和3年度実績報告】

1.令和3年度の 取組内容	校区別人権教育懇談会を開催し、学習活動実践例を取りまとめた。				
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	参加者数121,780人(累計) (令和2年度:56,171人、令和3年度:65,609人)			5点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)					

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)	5点
----------------------	----

チェック欄			
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、校区別懇談会は、当初計画の3回の内、2回が開催中止となった。
-------	--

5. 成果	学習活動実践例を取りまとめ記録集として各学校に配布し、人権教育の意識を高めた。
-------	---

主要課題	6	教育分野での男女共同参画～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	82
重点目標	6-1	男女平等を推進する教育・学習の充実		
実行項目	6-1-1	学校教育での男女平等の推進		
事業名	若者のライフデザイン支援事業(再掲)			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	若いうちに、固定的性別役割分担意識を払拭し、晩婚・晩産等の実情を知った上で、自分が思い描く進路選択を含めた人生設計を構築する支援を行う。			
数値目標	講演会等を通じた若年層への周知回数 1回／年			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	ジェンダー論を専門とし、自ら家事・育児に積極的に参画している東京大学大学院の瀬地山角教授を講師として招き、愛媛大学理学部1回生等(226名)を対象に基調講演を開催した。(新型コロナウイルスへの感染防止対策として、実施大学の学生のみを対象とした) また、女性の活躍促進や男性の育児休業取得等に積極的に取り組んでいる「コムズまどんな応援企業」の若手社員が登壇する交流会(質問会)を実施。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	周知回数 1回	5点	※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	5点
-----------------------	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	市内にある4大学の学生を対象に開催する予定であったが、新型コロナウイルスの影響により、対象を実施大学の学生のみに変更した。 新型コロナウイルスの終息が見通せない中、大学側の意向もあるため、他大学の学生の参加が難しい状況にある。
-------	--

5. 成果	愛媛大学理学部1回生が対象であったため、男子学生が約140名と男性の参加が多かった。 家事育児を実践者であると同時に、ジェンダー論が専門の講師であったため、男性の家事参画の重要性やライフデザインについて考える機会となり、事後アンケートでは、「ライフデザインを考える参考になった」と回答した学生が9割にのぼった。
-------	--

主要課題	6	教育分野での男女共同参画～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	83
重点目標	6-1	男女平等を推進する教育・学習の充実		
実行項目	6-1-2	家庭・地域での男女平等の教育・学習の推進		
事業名	地区人権教育の推進			
担当	人権啓発課			
事業概要	人権に対する関心を全市域において高めていくためには、地域における学習会の積み重ねが重要であるため、公民館本館や分館などを単位とした人権学習会を実施し、人権を大切にし互いを認め合えるまちづくりを目指す。			
数値目標	開催数870回 参加者数51,000人(累計)			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	地区人権教育推進協議会や公民館事業推進委員会、ふれあいセンターと連携・協力し、公民館本館や分館・集会所などを単位とした小集団学習会を実施した。				
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	開催数272回 参加者数40,156人(累計) (開催数 令和2年度:132回、令和3年度:140回) (参加者数 令和2年度:20,593人、令和3年度:19,563人)			2点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)					

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)	5点
-----------------------	----

チェック欄			
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、可能な範囲で学習会等を行ったが、当初計画の約半分が開催中止となった。今後も、学習会に代わる啓発活動等を引き続き支援する。
-------	--

5. 成果	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、学習会の代わりに、人権に関するチラシを作成配布するなどの啓発活動をおこなった。
-------	--

主要課題	6	教育分野での男女共同参画～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	84
重点目標	6-1	男女平等を推進する教育・学習の充実		
実行項目	6-1-2	家庭・地域での男女平等の教育・学習の推進		
事業名	人権教育研究会の開催			
担当	人権啓発課			
事業概要	松山市人権教育推進協議会における関係機関・団体等の関係者ほか市民が一堂に会し、研究協議や交流を深める中で、人権に関わる社会問題の解決を市民一人ひとりの課題とし、問題解決に向けて果たすべき役割を確認し合うとともに、実践事例を通して、人権教育・啓発活動の一層の飛躍を図るために、研究会を開催する			
数値目標	参加人数(累計)3,000人			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	令和4年1月に人権教育研究会を開催予定であったが、オミクロン株感染拡大特別警戒期間のため、全体会のみオンライン開催した。 ※参加者数は、全体会のオンライン視聴者数(506人)と、分科会の報告内容をまとめた冊子を配付した数(632人分)を合算した人数を記載している。			
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	参加者数1,138人(全体会506人、分科会632人)		5点	
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)				

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)	5点			
----------------------	----	--	--	--

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	令和2年度は、3年度も、新型コロナウイルスの収束がみられない中で、対面形式での全体会及び分科会ができなかった。来年度も、オンライン形式を併用して、一部でも実施できるよう、可能な限りの準備・取組を実施していく。			
-------	--	--	--	--

5. 成果	新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、当日の開催は取り止めたが、講演会は事前に準備していたオンラインでの録画配信を行い、506人が視聴した。また、分科会での報告内容をまとめた冊子を参加予定者632人に配付した。			
-------	--	--	--	--

主要課題	6	教育分野での男女共同参画～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	85
重点目標	6-1	男女平等を推進する教育・学習の充実		
実行項目	6-1-2	家庭・地域での男女平等の教育・学習の推進		
事業名	人権啓発フェスティバルの開催			
担当	人権啓発課			
事業概要	人権問題に対する正しい知識や情報を提供することにより、市民一人ひとりの人権意識を高め、相互に人権を守り合うことの大切さを認識し、心豊かな人権尊重社会を築くことを目的として、人権啓発フェスティバルを開催する。当日は人権に関する講演会や人権問題の解決に向けて活動する団体による展示などを複合的に実施する。			
数値目標	(2)参加人数(累計)3,000人			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	人権啓発フェスティバル2021を開催し、北朝鮮による拉致被害者である蓮池薫さんを講師に招き、講演会を実施した。新型コロナウイルス感染症対策として、総合コミュニティセンターでの会場講演とあわせて、オンライン講演も実施し、参加した市民から高い評価を得た。今後も、人権意識の醸成につながるテーマを取り上げ、広く人権教育・啓発に取り組む。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	1,180人(会場・オンラインの合計)		5点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度 (0～5点)		5点
-----------------------	--	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	会場講演のアンケート結果では、参加者の約65%が女性であり、過去のアンケート結果からも、男性よりも女性の参加者の方が多い傾向にあることが分かった。一方で、過去(H29、H30)のアンケートでは、性別を問う設問に対し、「答えたくない」と答えた方が0.5%以下であったのに対し、令和3年度のアンケートでは全体の4.5%の方が「答えたくない」を選択していた。性的マイノリティの方への配慮の視点から、性別記載欄の必要性を検討する必要がある。
-------	--

5. 成果	参加者アンケートでは、「今回の講演を受講し、人権についての理解が深まったか」という問いに対し、会場講演の約95%、オンライン講演の100%の方が、「大変深まった」「まあ深まった」と答えており、人権意識の醸成につながるイベントを実施することができた。また、オンライン講演に対し、「手話や字幕もあり、様々な方が視聴できる工夫がされており感心した」など、好意的な意見を多数いただくことができた。
-------	--

主要課題	6	教育分野での男女共同参画～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	86
重点目標	6-1	男女平等を推進する教育・学習の充実		
実行項目	6-1-3	子どもにとっての男女共同参画		
事業名	キャリア教育の支援			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	親や小中学生を対象に、理系分野に親しんでもらうなどのイベントの開催を行う。			
数値目標	講座参加人数30人			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	女子学生・生徒の理工系分野への進学状況は他の分野と比較して低い状況にあり、女子の理工系分野への関心・理解を高めるために、小学校低学年の女子児童とその保護者を対象に、理系女子大学生が講師を務める自然科学に触れる講座「親子でトライ～育て！リケジョの卵たち～」(8月22日)の準備を進めてきたが、新型コロナウイルスの感染拡大が顕著になったため、協力大学の判断で中止。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	中止		0点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)	3点
----------------------	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	対象を小学3年生～5年生を対象としているため、対面での開催が望ましく、新型コロナウイルスの影響により中止とした。
-------	--

5. 成果	新型コロナウイルスの影響により中止となったが、申し込み件数は親子38組であり、関心の高さを伺い知ることができた。
-------	--

主要課題	6	教育分野での男女共同参画～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	87
重点目標	6-1	男女平等を推進する教育・学習の充実		
実行項目	6-1-3	子どもにとっての男女共同参画		
事業名	子どもから広がるいじめ0ミーティング			
担当	学校教育課			
事業概要	小中学生による「子どもから広がるいじめ0ミーティング」を実施し、各学校の児童生徒の代表者や保護者、教員等の参加により多様な意見を交わす機会を拡充するとともに、児童生徒のいじめに対する認識を深め、すすんでいじめをなくそうとする態度と実践力を養う。			
数値目標	各学校において、毎月1回、いじめをなくす取組を実施			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	令和3年12月28日に「子どもから広がるいじめ0ミーティング」を実施した。ウェブ会議システムを使って、メイン会場(教育研修センター)とサテライト会場(松山市内中学校7会場)をつなぎ、オンライン形式で実施した。 毎月10日「まつやま・いじめ0の日」には、各学校において、いじめをなくすための取組を実施した。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)			5点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)		4点
----------------------	--	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	本市の小・中学校の実態や実情に応じた話合いのテーマを設定できるように検討し、さらに充実したものになるようにしたい。今後、代表校の取組等を参考にし、「まつやま・いじめ0の日」の取組が充実していくよう、啓発に努めたい。		
-------	---	--	--

5. 成果	令和3年度は 新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、「子どもから広がるいじめ0ミーティング」を初めてオンライン形式で実施した。小グループではあったが、対面で協議をしたり、各会場を繋いで意見交換をしたりすることができた、また、毎月10日にそれぞれの学校で行っている「まつやま・いじめ0の日」の取組に焦点を当て、代表校の発表やグループ協議を通じ、市内全校の意識を高めることができた。		
-------	---	--	--

主要課題	6	教育分野での男女共同参画～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	88
重点目標	6-2	多様な選択を可能にする教育・学習の充実		
実行項目	6-2-1	生涯学習の推進		
事業名	元気活力支援事業			
担当	地域学習振興課			
事業概要	地域住民のニーズに即した講座や地域課題解決のための活動などを行い、地域に密着した円滑な公民館運営を行うことで、元気で活力に満ちた人づくり・地域づくりを目指す。			
数値目標	講座・活動開催数2,000回			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	高齢者、成人、女性、子ども等、幅広い地域住民を対象にした「人権問題講座」「健康講座」「防災講座」「料理教室」等を開催した。地域住民が参加しやすい活動の場を提供できた。また、活動の成果を地域に還元し、地元により愛着が持てるきっかけづくりになった。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	活動回数	1,272回	3点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)	4点
----------------------	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	

4. 課題	年度初めに地域住民の代表者とのような活動を行うか計画をしているが、活動終了後に参加者からの聞き取り等を行い、公民館を拠点とした魅力ある活動の場を提供できるように地域住民の声を活かしていく必要がある。
-------	---

5. 成果	地域住民が、子どもからお年寄りまで「集い、学び、支え合う」ための生涯学習の機会を提供することで人と人がつながる地域づくりに貢献できた。
-------	---

主要課題	6	教育分野での男女共同参画～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	89
重点目標	6-2	多様な選択を可能にする教育・学習の充実		
実行項目	6-2-2	女性の能力開発(エンパワーメント)のための機会の充実		
事業名	男女共同参画に関する出張講座の開催			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	市民対象に男女共同参画推進の意識啓発を図るため、市民グループや企業に対し、男女共同参画に関する出張講座の開催及び講師派遣を行う。			
数値目標	派遣回数25回			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の取組内容	8団体から申し込みがあったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響のため、中止が2団体、キャンセルが1団体発生した。 実施した5団体の内訳は、育児サークル1、高校1、事業所1、公民館1、高齢クラブ1。 内容は、親子でリフレッシュ、ジェンダー学習会、働き方改革、健康体操、高齢者の生きがいであった。		
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	5回		1点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)			

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)	5点
----------------------	----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、中止や依頼者側からのキャンセルが合計3件あった。 コロナ禍でも実施できるよう、今後はオンライン開催も行っていきたい。
-------	---

5. 成果	申込団体の希望に応じ、オーダーメイドで講座内容を組み立てるため、参加者の満足度が高く、次年度も利用したいとする団体が多い。
-------	---

主要課題	6	教育分野での男女共同参画～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	90
重点目標	6-2	多様な選択を可能にする教育・学習の充実		
実行項目	6-2-2	女性の能力開発(エンパワーメント)のための機会の充実		
事業名	男女共同参画の視点を持つための学習機会の提供【再掲】			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	男性の家事・育児・介護への参画、高齢者の社会参加の促進、市民グループ活動支援講座等、対象を明確にし、さまざまな年代層の市民が参加できる講座を開催する。			
数値目標	参加人数400人			

【令和3年度実績報告】

1. 令和3年度の 取組内容	「アンガーマネジメント講座」(6/2): 参加人数31人 「コムズおはなし会」(親子対象読み聞かせ)(7/17・11/20)【中止3回】: 延べ参加人数26人 「人生100年時代を生きるヒント」(全3回・8月～11月): のべ参加人数54人 「暮らしのスキルアップ講座」(全4回・10～12月): のべ参加人数72人 「男女共同参画防災講座 in 小学校」(11/9)【中止1回】: 参加人数127人 「乳幼児期からはじめる性教育～ここからだの主人公になるために～」(11/20): 参加人数25人 「親子でトライ～育て！リケジョの卵たち～」【中止】			
2. 数値目標に対する実績と達成度(0～5点)	参加人数335人			4点
※達成度 0%(0点) ～29%(1点) 30%～49%(2点) 50%～79%(3点) 80%～99%(4点) 100%以上(5点)				

3. 男女共同参画への配慮度(0～5点)	5点
----------------------	----

チェック欄			
実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	✓
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	✓
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	✓
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、外部に公表するなどした	✓
	⑤	検証にあたり市民からアンケートを取るなど、客観的な評価を取り入れた	✓

4. 課題	新型コロナウイルス感染拡大の影響で、17本のうち、中止となった講座が5本発生した。オンライン開催に適さない講座もあるため、コロナ禍でいかに実績をつくるかが課題である。
-------	---

5. 成果	男女共同参画のすそ野を広げるために、市民の興味関心をそそる内容で講座を企画し、多様な切り口で男女共同参画について考える機会を提供できた。
-------	--